

IT&Business
ITビジネス分野

Creative
クリエイティブ分野

Technology &
Architecture
テクノロジー・建築分野

学校法人 日本コンピュータ学園
東北電子専門学校

2017カリキュラム Curriculum

学校法人 日本コンピュータ学園
東北電子専門学校

📖 本冊子について

本冊子は学科（コース）の授業内容を知っていただくための資料です。どのような科目をどのくらいの時間学ぶのかを知ることにより、授業内容を十分理解し、学科選択をスムーズに行っていただけるよう編集しています。

各ページには、授業内容のほか「1週間のタイムテーブル（時間割）のサンプル」、「めざせる資格一覧」を記載しておりますのであわせて参考にしてください。

✎ カリキュラムについて

※次表は例です

科目名	授業時数	単位数	内容
パソコン基礎	171.0	6	パソコンの基礎知識について学び、J検合格をめざし…
簿記会計I	142.5	5	簿記会計の基本を学習しながら、簿記検定(日商)3級にも対応して…
⋮	⋮	⋮	⋮

◇年次ごとの履修科目名と授業時数・単位数・内容が記載されています。

◇2017年4月入学者向けの内容を記載しています。

◇科目により半期で履修するものと、通年で履修するものがあります。

🕒 タイムテーブルについて

各ページに記載されているタイムテーブルは、週間の時間割の様子を知っていただくための例で、学科・コースにより異なります。

授業時間は1コマ70分、休み時間15分、昼休み60分となっています。なお、昼休みは、11:35~12:35と13:00~14:00の2パターンがあり、学科・コースにより異なります。

📄 めざせる資格一覧について

学科ごとにめざすことができる資格一覧を記載していますが、学生個々の資格取得状況により、記載以外の資格を受験することもできます。

📖 共通選択科目について

全学科（コース）共通の選択科目があります。

下記の中から選択することができます。（必修科目ではありません）

科目名	授業時数	単位数	内容
ボランティア活動	28.5	1	校内外におけるボランティア活動を行います。
CGアプリケーション入門	28.5	1	3次元CGの初歩的な制作方法を実習します。
英会話基礎	28.5	1	日常英会話の基礎を学びます。
Linux基礎	28.5	1	インターネットサーバとして、企業等で多く採用されているオペレーティングシステムである「Linux」の基礎をWebサーバを構築しながら学習します。
コミュニケーションスキル講座	28.5	1	円滑な対人関係、組織の活性化、および、良いコミュニケーションに必要な「話す」「聞く」といった知識と能力を身につけます。
就職作文対策	28.5	1	就職試験で出題されることが比較的多い作文について、基本的な作成方法やコツなど、作文の基礎について学習します。
iPad応用	28.5	1	iPadを活用するさまざまなアプリの使用方法について学びます。また、作品を作成し、発表します。

💻 情報処理技術者試験対策 選択必修科目について

情報システム科、システムエンジニア科、ネットワークセキュリティ科、高度ITエンジニア科の4学科は以下の選択必修科目があります。

情報処理技術者試験対策（Ⅱ、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB）は受験区分に対応した科目を選択し学習します。

科目名	授業時数	単位数	内容
基本情報技術者試験対策（Ⅱ、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB）	57.0	2	対策クラスを編成し、基本情報技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
応用情報技術者試験対策（Ⅱ、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB）	57.0	2	対策クラスを編成し、応用情報技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
高度情報技術者試験対策（Ⅱ、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB）	57.0	2	対策クラスを試験区分ごとに編成し、高度情報技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

※Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

（注）カリキュラムは、技術動向等により変更される場合があります。

INDEX

ITビジネス分野

総合情報ビジネス科	
ビジネスキャリアコース	2
ITビジネスコース	3
スマートフォンアプリ開発科	4
情報システム科	5
システムエンジニア科	6
ネットワークシステム科	7
ネットワークセキュリティ科	
ネットワークコース	8
セキュリティコース	9
高度ITエンジニア科（高度専門士4年課程）	10
国際ビジネス科（留学生対象）	
ビジネスコース	12
教養コース	13

クリエイティブ分野

ゲームクリエイター科	
ゲーム企画コース	14
ゲームCGコース	15
ゲームエンジニア科	16
CGクリエイター科	17
Webクリエイター科	18
デジタルデザイン科	19
デジタルミュージック科	21
映像放送科	
映像演出コース	22
制作技術コース	23
音響制作科	
レコーディングエンジニアコース	24
コンサートスタッフコース	25

テクノロジー・建築分野

電気工学科	26
ホームエレクトロニクス技術科（旧：デジタル家電科）	27
組込みソフトエンジニア科	28
機械CAD設計科	29
建築科	
建築工学コース	30
CAD設計コース	31
建築大工技能科	32
インテリア科	33



総合情報ビジネス科

▶ビジネスキャリアコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
販売知識	171.0	6	流通機構の概要や消費者の購買行動、応対技術など、販売士検定3級に対応して学びます。
簿記会計	228.0	8	簿記会計の基本を学習しながら、簿記検定（日商）に対応して学びます。
ビジネス実務	57.0	2	正確で分かりやすいビジネス文書作成の知識と技能を身につけ、ビジネス文書検定に対応して学びます。
ビジネスコミュニケーション	57.0	2	ビジネスマナーやコミュニケーションの基礎、仕事に対する基本姿勢を学習します。
パソコン基礎	28.5	1	パソコンの動作原理や基本単位などパソコンの基礎知識について学びます。
オフィスアプリケーション I	171.0	6	より速く正確な入力ができるようタッチタイピングを練習します。また、見栄えの良い文書作成の方法を学びます。
ライセンス対策 I	171.0	6	表計算ソフト「Excel」の機能と基本操作を学び、マイクロソフトオフィススペシャリスト Excelの合格をめざします。
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
ライフデザイン I	57.0	2	アロマテラピーやペン字、健康スポーツ I などから科目を選択して学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
マーケティング	114.0	4	販売に関する専門知識と売り場や店舗を管理・指導する能力を持てるレベルを目標とし、さらにネットビジネスの知識も学びます。資格目標として販売士検定2級合格をめざします。
簿記演習	171.0	6	簿記検定（日商）合格をめざし模擬問題の演習などに力を入れ、さらに会計ソフト操作技術を学びます。
オフィスアプリケーション II	228.0	8	Wordを使用した実践的かつ高度な文書作成や、データベースソフト「Access」やプレゼンテーションソフト「PowerPoint」の利用技術を幅広く学びます。
ライセンス対策 II	85.5	3	Wordの応用技術を学び、マイクロソフトオフィススペシャリスト Wordの合格をめざします。
ビジネスマナー	57.0	2	ビジネスシーンで必要とされる、社会人としての幅広い教養を学びます。また、接遇マナーについても学びます。
プレゼンテーション	85.5	3	自ら企画を提案し、他人に要領よく伝え、行動するための表現技法について学びます。
Webデザイン	57.0	2	インターネットの幅広い知識とHTMLによるホームページの作成方法を学びます。
デジタルデザイン	57.0	2	Photoshop Elementsの操作技術を修得し、デザイン・表現方法を学びます。
ライフデザイン II	114.0	4	カラーコーディネート、革細工やブチクラフト、健康スポーツ II などから科目を選択して学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10		ビジネス実務		簿記会計
2	10:25 11:35	販売知識	ライセンス対策 I	ライセンス対策 I	販売知識
3	11:50 13:00	簿記会計	簿記会計	オフィス アプリケーション I	就職対策 I
4	14:00 15:10	オフィス アプリケーション I	パソコン基礎	簿記会計	ビジネス実務
5	15:25 16:35			情報リテラシー	

めざせる資格

▼簿記検定(日商)
▼リテールマーケティング(販売士) 検定
▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
▼日本語ワープロ検定
▼文書デザイン検定
▼ビジネス文書検定
▼サービス接遇検定
▼電子会計実務検定
▼コミュニケーション検定
▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス



総合情報ビジネス科

▶ITビジネスコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
IT基礎	171.0	6	情報技術の基礎知識を学び、ITパスポート試験合格をめざします。
ライセンスマスター I	171.0	6	表計算ソフト「Excel」のさまざまな関数や応用操作を学び、マイクロソフトオフィススペシャリスト Excelの合格をめざします。
オフィスアプリケーション	142.5	5	より速く正確な入力ができるようタッチタイピングを練習します。また、見栄えの良い文書作成の方法を学びます。
ビジネス実務	57.0	2	正確で分かりやすいビジネス文書作成の知識と技能を身につけ、ビジネス文書検定に対応して学びます。
ビジネスコミュニケーション	57.0	2	ビジネスマナーやコミュニケーションの基礎、仕事に対する基本姿勢を学習します。
販売知識	114.0	4	流通機構の概要や消費者の購買行動、応対技術など、販売士検定3級に対応して学びます。
簿記会計	171.0	6	簿記会計の基本を学習しながら、簿記検定（日商）3級に対応して学びます。
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
ライフデザイン I	57.0	2	アロマテラピーやペン字、健康スポーツ I などから科目を選択して学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ライセンスマスター II	228.0	8	PowerPoint、Accessをマイクロソフトオフィススペシャリストに対応して学びます。
インストラクション演習	114.0	4	今まで学んだパソコンの操作方法や知識を、人にわかりやすく、的確に教えるための技術を学びます。
データベース技術	85.5	3	リレーショナルデータベースの基本を学び、「Access」を使用してデータベースシステムの作成方法を学びます。
プレゼンテーション	85.5	3	自ら企画を提案し、他人に要領よく伝え、行動するための表現技法について学びます。また、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の利用技術も学びます。
プログラミング技術	57.0	2	VBAを使用したプログラミング実習でプログラムの基礎知識を学習します。
Webデザイン応用	114.0	4	HTMLに加えCSSを使ったWebサイト制作の技術を学びます。
ビジネスマナー	57.0	2	ビジネスシーンで必要とされる、社会人としての幅広い教養を学びます。また、接遇マナーについても学びます。
デジタルデザイン	57.0	2	Photoshop Elementsの操作技術を修得し、デザイン・表現方法を学びます。
CAD基礎	57.0	2	設計の現場で多く使用されている製図用のソフトウェア（JW-CAD）を使って、製図の基本操作を学び、図面の書き方を修得します。
ライフデザイン II	114.0	4	カラーコーディネート、革細工やブチクラフト、健康スポーツ II などから科目を選択して学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	オフィス アプリケーション	ライセンス マスター I	簿記会計	
2	10:25 11:35	IT基礎	販売知識	ビジネス コミュニケーション	簿記会計
3	11:50 13:00				ライセンス マスター I
4	12:35 13:45	販売知識	IT基礎	ライセンス マスター I	就職対策 I
5	14:00 15:10	簿記会計	オフィス アプリケーション	ライフデザイン I	ビジネス コミュニケーション
6	15:25 16:35			ライフデザイン I	

めざせる資格

▼ITパスポート
▼マイクロソフトオフィスマスター
▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
▼簿記検定(日商)
▼リテールマーケティング(販売士) 検定
▼日本語ワープロ検定
▼文書デザイン検定
▼ビジネス文書検定
▼サービス接遇検定
▼コミュニケーション検定
▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス



スマートフォンアプリ開発科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。
プレゼンテーション	57.0	2	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成ツールであるPowerPointを学びます。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
IT概論	142.5	5	情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・アルゴリズム・技術動向などを学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
データベース入門	57.0	2	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLの基礎などを学びます。
ネットワークセキュリティ	57.0	2	ネットワークの役割や基礎知識・ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。加えてネットワークコマンドの基礎も学びます。
プログラミング言語 I	228.0	8	オブジェクト指向の基礎を学んだ後Javaを学習します。加えて、Eclipse等の開発ツールの操作について学びます。
Webプログラミング I	85.5	3	PHPとXAMPPを使ってサーバーサイドプログラミングやクライアントとサーバーの連動について学びます。
スマホアプリ開発 I	85.5	3	Android、iPhone両方で動作する小規模なアプリの開発手法を学びます。
スマホアプリ企画	28.5	1	魅力的なスマホアプリを開発するための発想やアイデアの出し方、企画の立て方などについて学びます。
Webコンテンツ	85.5	3	HTML5、CSS3、JavaScript等を使ってブラウザ向けのアプリケーション開発の基礎を学びます。
Linux概論	85.5	3	Linuxの一般ユーザレベルに求められるスキルを学びます。基本的なテーマからLPIC認定資格の出題範囲までをカバーします。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
XML	85.5	3	XMLやJSONなど、プログラミングで必須となるさまざまなデータを記述する言語の基礎を学習した後、これらのデータをプログラム言語から操作する手法を学びます。
スマホビジネス	85.5	3	スマホビジネスの全体像を「Webマーケティング」と「Webディレクション」(要件定義、企画、設計)の分野をベースに学びます。
プログラミング言語 II	114.0	4	1年次のプログラミング言語 I の学習をさらに発展させ、スマホアプリ開発に必要なプログラミング能力にさらに磨きをかけます。
Webプログラミング II	114.0	4	1年次で学んだ内容をもとに、Ajaxやデータベースとの連動といった実践的なテーマに取り組みます。フレームワークの基礎も学びます。
スマホアプリ開発 II	171.0	6	Java言語を使ったAndroidアプリの開発をメインに学習します。1年次で学んだ基礎をもとに、高度な技術を使った、かつオリジナリティを追求した作品を作ります。
RIAプログラミング	171.0	6	数種類のプログラム言語によるグラフィックスプログラミングの学習を通して、リッチな画面や機能を実現するためのRIA(Rich Internet Application)プログラミングをマスターします。
卒業研究	228.0	8	2年間の学習の総仕上げとして、グループ作業によるスマホアプリの設計開発、ならびに成果発表を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 スマホアプリ開発 II	XML	スマホビジネス	XML	就職対策 II
2	10:25 11:35 スマホアプリ開発 II	RIAプログラミング	スマホビジネス	XML	Webプログラミング II
3	11:50 13:00 就職対策 II	RIAプログラミング		スマホアプリ開発 II	Webプログラミング II
	12:35 13:45				
4	14:00 15:10	Webプログラミング II		RIAプログラミング	スマホビジネス
5	15:25 16:35	Webプログラミング II			

めざせる資格

<ul style="list-style-type: none"> ▼Android™アプリケーション技術者認定試験 ▼PHP技術者認定試験 ▼基本情報技術者 ▼Java™プログラミング能力認定試験 ▼情報検定(J検) 情報システム試験 情報活用試験 ▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス ▼LPIC(Linux技術者認定) ▼Webデザイナー検定
--



情報システム科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLなどの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される擬似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語 I	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書(ドキュメント)、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
プレゼンテーション	114.0	4	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成のツールであるPowerPointを学びます。
OS基礎	57.0	2	Windowsをもとにオペレーティングシステムの役割、基本操作、設定などを修得します。

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
プログラミング言語 II	171.0	6	Windowsアプリケーションを作るためVisual Basic言語を学びます。
プログラミング言語 III	171.0	6	Java言語を学びます。またプログラミングを通してオブジェクト指向を理解し、UMLでの表記も学びます。
Webアプリケーション	114.0	4	Webの基本であるHTML、CSSを修得します。またWebサーバ、データベースを使用したWebプログラミングを学びます。
データベース演習	85.5	3	データベースを構築し操作の基本を学びます。また実務をもとにデータを管理する方法を学びます。
システム開発演習	85.5	3	システム開発工程の外部設計からプログラム設計までを演習を通して学びます。
サーバ構築	114.0	4	Windows Serverの設定、管理、セキュリティなどを演習しながら学びます。またWebサーバなどの構築を学びます。
卒業研究	171.0	6	各自でシステムを考案します。システムの設計、実装、テストなど開発全般を演習し、成果をまとめ発表します。
情報処理技術者試験対策 II ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

(注) 情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 プログラミング言語 II	Webアプリケーション	プログラミング言語 II	Webアプリケーション	プログラミング言語 II
2	10:25 11:35 サーバ構築	プログラミング言語 II	プログラミング言語 III	プログラミング言語 II	プログラミング言語 II
3	11:50 13:00				
4	12:35 13:45 データベース演習	プログラミング言語 III	データベース演習	プログラミング言語 III	データベース演習
5	14:00 15:10 就職対策 II		サーバ構築	就職対策 II	
6	15:25 16:35				

めざせる資格

<ul style="list-style-type: none"> ▼基本情報技術者 ▼応用情報技術者 ▼ITパスポート ▼MTA(マイクロソフトテクノロジーアソシエイト) ▼オラクルマスター(オラクル認定技術者) ▼CompTIA IT Fundamentals ▼情報検定(J検) 情報システム試験 情報活用試験
--



システムエンジニア科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLなどの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される疑似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語 I	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書（ドキュメント）、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
オブジェクト指向技術	114.0	4	オブジェクト指向設計の概念とJava言語の基本を学びます。
システム開発 I	57.0	2	モデルケースを元に、システム開発の流れを簡単に体験します。

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
Linux I	57.0	2	Linuxの一般ユーザレベルの設定方法を学びます。
OS概論	85.5	3	Windowsを中心にオペレーティングシステムの基礎を学びます。
SQL	171.0	6	オラクルデータベースを使って、データベースシステムの実装技術の基本を学びます。ORACLE MASTER Bronzeの試験範囲をカバーします。
プログラミング言語 II	285.0	10	Java言語でのプログラミングを学習し、Javaプログラミング能力認定試験、オラクル認定Java資格取得をめざします。
情報セキュリティ I	85.5	3	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、セキュリティ基礎およびセキュリティマネジメントを学びます。
Web開発技術	85.5	3	Web上で動く情報システムの基本的な構築と、簡単なWebシステムについて学びます。
UML	57.0	2	オブジェクト指向設計の概念と、標準化されたモデリング言語であるUMLを学びます。
システム開発 II	57.0	2	データベースの設計を行う上で必要な知識（データ型・制約など）を学習します。
企業会計とビジネス	28.5	1	企業システムの構築に必要な、経営と会計の基礎および企業の仕組みを学びます。
情報処理技術者試験対策 II ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

3 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 III	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
プレゼンテーション	57.0	2	プレゼンテーションを学びます。また、PowerPointやVisioなど資料作成ツールの操作を学びます。
データベース管理	114.0	4	データベースの管理者に必要な管理技法を学び、各種データベースでの操作を体験します。
プログラミング言語 III	171.0	6	ブラウザ、Webサーバ、データベースを使ったWebプログラミングなどを学びます。
システム開発 III	171.0	6	実在する企業システムをモデルに、業務システムの分析から設計、開発、テストまで一通りの開発を行います。
卒業研究	342.0	12	総合実習として、学んできた言語・開発技法・ツールを使いグループでのアプリケーションを作成します。
情報処理技術者試験対策 III A ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策 III B ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026 (36単位)

(注) 情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

タイムテーブル例					
	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	SQL	SQL	SQL	プログラミング言語 II
2	10:25 11:35	プログラミング言語 II	UML	UML	就職対策 II
3	11:50 13:00				SQL
4	12:35 13:45	Web開発技術	Web開発技術	プログラミング言語 II	プログラミング言語 II
5	14:00 15:10	プログラミング言語 II	Web開発技術	プログラミング言語 II	プログラミング言語 II
6	15:25 16:35				

めざせる資格
<ul style="list-style-type: none"> ▼基本情報技術者 ▼応用情報技術者 ▼データベーススペシャリスト ▼ITパスポート ▼情報検定(J検) ▼情報システム試験 ▼情報活用試験 ▼オラクルマスター(オラクル認定技術者) ▼Java SE認定資格(旧OCJP) ▼Java™プログラミング能力認定試験 ▼MTA(マイクロソフトテクノロジーアソシエイト)



ネットワークシステム科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLなどの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される疑似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語 I	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書（ドキュメント）テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
ルータ構築 I	171.0	6	CCENT取得に必要なネットワーク基礎知識を学習します。

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
プログラミング言語 II	114.0	4	Web開発言語を使用し、ネットワークプログラムの作成方法を学びます。
プレゼンテーション技術	28.5	1	プレゼンテーション技術や論文の作成方法を学びます。
ルータ構築 II	256.5	9	CCENT取得に必要なルータ、スイッチの操作方法や各種設定の基本を学習します。
サーバ構築 I	114.0	4	Windowsサーバやセキュリティシステムの構築、管理メンテナンス方法を学びます。
ルータ構築 III	142.5	5	CCNA Routing and Switching取得に必要な小〜中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの操作方法について学びます。
サーバ構築 II	114.0	4	Linuxサーバの構築、管理メンテナンス方法を学びます。
情報セキュリティ	114.0	4	ITセキュリティを支える基礎技術（暗号化とアルゴリズム、署名、デジタル証明書、公開鍵基盤など）の仕組みを学びます。
卒業研究	85.5	3	各自が研究目標を設定し、最新ネットワーク技術について研究します。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例					
	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	プログラミング言語 II	サーバ構築 I	ルータ構築 II	プログラミング言語 II
2	10:25 11:35	ルータ構築 II	ルータ構築 II	サーバ構築 I	ルータ構築 II
3	11:50 13:00	ルータ構築 II	ルータ構築 II	サーバ構築 I	ルータ構築 II
4	12:35 13:45				
5	14:00 15:10	就職対策 II	プレゼンテーション技術		
6	15:25 16:35		就職対策 II		

めざせる資格
<ul style="list-style-type: none"> ▼基本情報技術者 ▼ITパスポート ▼応用情報技術者 ▼情報検定(J検) ▼情報システム試験 ▼情報活用試験 ▼CCENT(シスコ技術者認定) ▼CCNA Routing and Switching(シスコ技術者認定) ▼CompTIA IT Fundamentals ▼MTA(マイクロソフトテクノロジーアソシエイト)



ネットワークセキュリティ科

▶ネットワークコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLなどの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される疑似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書(ドキュメント)、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
LinuxⅠ	85.5	3	Linuxデスクトップの利用方法について学びます。
ルータ構築Ⅰ	85.5	3	CCNA Routing and Switching取得に必要な中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの概要について学びます。

■1年次総授業時数1140(40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
プログラミング言語Ⅱ	57.0	2	オブジェクト指向プログラミング言語のJavaと、Androidプログラミングのための基礎知識を学びます。
ネットワーク技術	57.0	2	企業や組織で活用できる実践的なICT知識をインターネット検定ドットコムマスターのカリキュラムを使用して学びます。
プロジェクト管理Ⅰ	114.0	4	ネットワークセキュリティ科主催イベントのN-1コンテスト(ネットワーク構築スキルコンテスト)の企画を通じて、ドキュメントの作成手法を学びます。
情報セキュリティⅠ	85.5	3	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、セキュリティ基礎を学びます。
LinuxⅡ	57.0	2	LPICレベル1試験の試験対策を行います。
ルータ構築Ⅱ	142.5	5	CCENT取得に必要なネットワーク基礎知識とルータ、スイッチの操作方法や各種設定の基本を学習します。
プロジェクト管理Ⅱ	114.0	4	ネットワークセキュリティ科主催イベントのN-1コンテスト(ネットワーク構築スキルコンテスト)の企画を通じて、プレゼンテーション技法とネットワークやサーバの検証やトラブル対応手順を学びます。
クラウドコンピューティング	57.0	2	クラウドの運用やクラウドサービスの提供の基盤技術をCompTIA Cloud+のカリキュラムを使用して学びます。
Windowsシステム構築Ⅰ	57.0	2	Windowsクライアントの設定・管理を学びます。
ルータ構築Ⅲ	85.5	3	CCNA Routing and Switching取得に必要な中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの操作方法について学びます。
LinuxⅢ	85.5	3	Linuxサーバの運用管理、各種サーバの設定方法について学びます。
情報処理技術者試験対策Ⅱ ^(※)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026(36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
卒業研究Ⅰ	114.0	4	各自が研究目標を設定し、研究環境を構築します。
サーバ構築	171.0	6	システムの仮想化技術も含め、現場で必要なサーバ技術を学びます。
LinuxⅣ	114.0	4	LPICレベル2試験の試験対策を行います。
Windowsシステム構築Ⅱ	85.5	3	Windowsサーバの運用管理を学びます。
情報セキュリティⅢ	171.0	6	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、ネットワークセキュリティの構築・運用を学びます。
卒業研究Ⅱ	199.5	7	各自が研究目標を設定し、最新ネットワーク・セキュリティ技術について研究します。
情報処理技術者試験対策ⅢA ^(※)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB ^(※)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026(36単位)

(注) 情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

タイムテーブル例						
	月	火	水	木	金	
1	9:00 10:10	ルータ構築Ⅱ	ネットワーク技術	LinuxⅡ	ネットワーク技術	ルータ構築Ⅱ
2	10:25 11:35	情報セキュリティⅠ	ルータ構築Ⅱ	LinuxⅡ	ルータ構築Ⅱ	プロジェクト管理Ⅰ
3	11:50 13:00	情報セキュリティⅠ			情報セキュリティⅠ	
	12:35 13:45			プロジェクト管理Ⅰ		
4	14:00 15:10	プログラミング言語Ⅱ		就職対策Ⅱ	プロジェクト管理Ⅰ	
5	15:25 16:35	ルータ構築Ⅱ	プロジェクト管理Ⅰ			

めざせる資格

- ▼基本情報技術者
- ▼応用情報技術者
- ▼ITパスポート
- ▼ネットワークスペシャリスト
- ▼情報セキュリティスペシャリスト
- ▼CompTIA Cloud+
- ▼インターネット検定 .com Master
- ▼CCNA Routing and Switching(シスコ技術者認定)
- ▼CCENT(シスコ技術者認定)
- ▼情報検定(J検)
- ▼情報システム試験
- ▼情報活用試験
- ▼LPIC(Linux技術者認定)
- ▼SEA/J情報セキュリティ技術認定



ネットワークセキュリティ科

▶セキュリティコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLなどの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される疑似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書(ドキュメント)、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
LinuxⅠ	85.5	3	Linuxデスクトップの利用方法について学びます。
ルータ構築Ⅰ	85.5	3	CCNA Routing and Switching取得に必要な中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの概要について学びます。

■1年次総授業時数1140(40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
プログラミング言語Ⅱ	57.0	2	オブジェクト指向プログラミング言語のJavaと、Androidプログラミングのための基礎知識を学びます。
プロジェクト管理Ⅰ	114.0	4	ネットワークセキュリティ科主催イベントのN-1コンテスト(ネットワーク構築スキルコンテスト)の企画を通じて、ドキュメントの作成手法を学びます。
情報セキュリティⅠ	85.5	3	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、セキュリティ基礎を学びます。
LinuxⅡ	57.0	2	LPICレベル1試験の試験対策を行います。
ルータ構築Ⅱ	142.5	5	CCENT取得に必要なネットワーク基礎知識とルータ、スイッチの操作方法や各種設定の基本を学びます。
情報セキュリティ技術	57.0	2	セキュリティ技術者の基盤技術をCompTIA Security+のカリキュラムを使用して学びます。
情報セキュリティⅡ	57.0	2	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、情報セキュリティマネジメントを学びます。
プロジェクト管理Ⅱ	114.0	4	ネットワークセキュリティ科主催イベントのN-1コンテスト(ネットワーク構築スキルコンテスト)の企画を通じて、プレゼンテーション技法とネットワークやサーバの検証やトラブル対応手順を学びます。
セキュアプロトコル	57.0	2	セキュリティを確保する中核技術である暗号化や認証システムについて学びます。
ルータ構築Ⅲ	85.5	3	CCNA Routing and Switching取得に必要な中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの操作方法について学びます。
LinuxⅢ	85.5	3	Linuxサーバの運用管理、各種サーバの設定方法について学びます。
情報処理技術者試験対策Ⅱ ^(※)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026(36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
卒業研究Ⅰ	114.0	4	各自が研究目標を設定し、研究環境を構築します。
Webセキュリティシステム	171.0	6	PHP言語を使用し、データベースとの連携を学び、セキュアなWEBサイトの構築を学ぶます。
LinuxⅣ	114.0	4	LPICレベル2試験の試験対策を行います。
Windowsシステム構築Ⅱ	85.5	3	Windows Serverの運用管理を学びます。
情報セキュリティⅢ	171.0	6	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、ネットワークセキュリティの構築・運用を学びます。
卒業研究Ⅱ	199.5	7	各自が研究目標を設定し、最新ネットワーク・セキュリティ技術について研究します。
情報処理技術者試験対策ⅢA ^(※)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB ^(※)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026(36単位)

(注) 情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

タイムテーブル例						
	月	火	水	木	金	
1	9:00 10:10	ルータ構築Ⅱ	情報セキュリティ技術	LinuxⅡ	情報セキュリティ技術	ルータ構築Ⅱ
2	10:25 11:35	情報セキュリティⅠ	ルータ構築Ⅱ	LinuxⅡ	ルータ構築Ⅱ	プロジェクト管理Ⅰ
3	11:50 13:00		情報セキュリティⅠ		情報セキュリティⅠ	
	12:35 13:45			プロジェクト管理Ⅰ		
4	14:00 15:10	プログラミング言語Ⅱ		就職対策Ⅱ	プロジェクト管理Ⅰ	
5	15:25 16:35	ルータ構築Ⅱ	プロジェクト管理Ⅰ			

めざせる資格

- ▼基本情報技術者
- ▼応用情報技術者
- ▼ITパスポート
- ▼ネットワークスペシャリスト
- ▼情報セキュリティスペシャリスト
- ▼CompTIA Security+
- ▼SEA/J情報セキュリティ技術認定
- ▼CCNA Routing and Switching(シスコ技術者認定)
- ▼CCENT(シスコ技術者認定)
- ▼LPIC(Linux技術者認定)
- ▼情報検定(J検)
- ▼情報システム試験
- ▼情報活用試験



高度ITエンジニア科

(高度専門士4年課程)

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQLなどの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される擬似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書（ドキュメント）、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
オブジェクト指向技術	114.0	4	オブジェクト指向設計の概念とJava言語の基本を学びます。
WebデザインⅠ	57.0	2	画像ソフト操作方法を修得しWebページの素材を加工・作成します。

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	28.5	1	IT業界で多く実施される、SPI、CAB、GAB、内田クレベリンなどの演習を行い就職試験に備えます。
実用英語Ⅰ	57.0	2	英文マニュアルや簡単な文献が読める程度の読解力を養います。
プレゼンテーション	57.0	2	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成ツールであるPowerPointを学びます。
ビジネス文書	28.5	1	さまざまなビジネスシーンで用いられる文例を通してビジネス文書の作成に必要な知識を身に着けます。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
OS概論	85.5	3	Windowsを中心にオペレーティングシステムの基礎を学びます。
SQL	171.0	6	関係データベースを操作する言語「SQL」について学びます。
プログラミング言語Ⅱ	228.0	8	Java言語について基礎から応用までじっくりと学びます。オラクル認定Javaプログラマの試験範囲を学修します。
Linux	57.0	2	Linux技術者にとって必要な基礎レベルのコマンドやファイルシステムについて学びます。
情報セキュリティ	85.5	3	SEA/Jアカデミーカリキュラムのもとに、セキュリティ基礎およびセキュリティマネジメントを学びます。
UML	57.0	2	標準化されたモデリング言語であるUMLを学びます。
WebデザインⅡ	85.5	3	HTML5・CSSなどを活用してWebページのデザインを学びます。
企業会計とビジネス	28.5	1	企業システムの構築に必要な、経営と会計の基礎および企業の仕組みを学びます。
情報処理技術者試験対策Ⅱ ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

3 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
社会人基礎力	28.5	1	社会人として自立するのに必要な「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を修得します。
就職対策Ⅲ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。
実用英語Ⅱ	57.0	2	ビジネスシーンで活用できる会話能力を身に付けます。
労働法規・企業倫理	28.5	1	社会人として必要な労働基準法などの法律や企業倫理を学びます。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
Webアプリケーション	85.5	3	ブラウザ、Webサーバ、データベースを使ったWebプログラミングの基礎を学びます。
データベース設計	57.0	2	データベースシステムの設計理論を学びます。
プロジェクトマネジメント	57.0	2	プロジェクトマネージャとして必要なマネジメントスキル、リーダーシップ、ネゴシエーション、ロジカルシンキングなどを学びます。
プログラミング言語Ⅲ	171.0	6	C#を使用したアプリの作成方法を学びます。
XML基礎	85.5	3	Web上のデータを記述する技術であるXMLについて学習します。
システム開発演習Ⅰ	171.0	6	チームを組んで、データベースを活用した小規模なシステムを構築します。
サーバ構築	114.0	4	サーバを構築するために必要な知識・技術を学びます。
情報処理技術者試験対策ⅢA ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026 (36単位)

4 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅳ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
チーム開発技法	114.0	4	フレームワーク、バージョン管理等のツールを使った、近年のチーム開発に必要な技術を学修します。
システム開発演習Ⅱ	285.0	10	より実務的なシステム開発の演習や事例研究を行います。
プログラミング言語Ⅳ	114.0	4	Ruby等の言語を用いデータベースと連携したWebプログラミングを学びます。
卒業制作	342.0	12	4年間の集大成として、プロジェクトを組みシステム開発を行います。また、卒業制作展で発表します。
情報処理技術者試験対策ⅣA ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅣB ^(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■4年次総授業時数1026 (36単位)

(注) 情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00~10:10 OS概論	S Q L	OS概論	プログラミング言語Ⅱ	情報セキュリティⅠ
2	10:25~11:35 プログラミング言語Ⅱ	情報セキュリティⅠ	S Q L	情報セキュリティⅠ	S Q L
3	11:50~13:00				
	12:35~13:45 S Q L	実用英語Ⅰ	企業会計とビジネス	OS概論	Linux
4	14:00~15:10 Linux		プログラミング言語Ⅱ		プログラミング言語Ⅱ
5	15:25~16:35				

めざせる資格

- ▼オラクルマスター(オラクル認定技術者)
- ▼Java SE認定資格(旧OCJ-P)
- ▼LPIC(Linux技術者認定)
- ▼基本情報技術者
- ▼応用情報技術者
- ▼データベーススペシャリスト
- ▼情報セキュリティスペシャリスト
- ▼ITパスポート
- ▼SEA/J情報セキュリティ技術認定試験
- ▼情報検定(J検)
- 情報システム試験
- 情報活用試験



国際ビジネス科

(留学生対象)

▶ビジネスコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
日本語 I	342.0	12	専門的な学習に対応できる日本語力を養うとともに日本語の各種資格試験対策も行います。
就職対策 I	57.0	2	留学生が日本で就職するために必要な基本事項と履歴書やエントリーシートの書き方などを学びます。
キャリアデザイン I	57.0	2	日本での就職筆記試験に対応できるように広い分野の一般常識の基礎と日本事情を学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
ライセンス対策 I	114.0	4	表計算ソフト Excel の機能と基本操作を学びます。
ワープロ演習	57.0	2	ワープロ機能による文章作成の基本を学びます。ワープロ検定対策も行います。
プレゼンテーション演習 I	57.0	2	プレゼンテーションソフト PowerPoint の学習を基礎から始め、自らの企画を要領よく聞き手に伝える技術について学びます。
ビジネス日本語 I	57.0	2	主に論文に関する指導を行います。他、日本語に関する各種資格試験対策も行います。
ビジネスマナー	57.0	2	日本社会で通用する社会人としての礼儀作法や日本独特の習慣などを学びます。またサービス接客検定対策も行います。
マーケティング I	57.0	2	自由主義経済社会の市場に関する基礎を学びます。
ビジネスコミュニケーション	57.0	2	一般社会の現場で通用する場面に応じたさまざまな日本語の表現を学びます。
ビジネス文書	57.0	2	ビジネス文書作成とその活用についての基礎を学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
日本語 II	342.0	12	日本語の四技能をさらに伸ばし、上級レベルの日本語資格の取得をめざします。
就職対策 II	57.0	2	日本で就職するために必要な基本事項の復習と就労ビザ変更に必要な資料作成について学びます。
企業実務基礎	57.0	2	日本社会で就労する際に必要な法律の知識及び労働法規及び簿記会計を基礎から学びます。
キャリアデザイン II	57.0	2	日本での就職筆記試験に対応できるように広い分野の一般常識を学び試験に対応できるようにします。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ライセンス対策 II	114.0	4	Word、Excel の応用について学びます。
ビジネス実務	57.0	2	ビジネス能力検定ジョブパスやサービス接客検定の対策を行います。
ビジネス日本語 II	57.0	2	J.TEST 実用日本語検定、ビジネス能力検定ジョブパス、秘書検定対策を行います。
マーケティング II	57.0	2	1年次の基礎をもとに更に流通や取引などの実践的な知識を学びます。
デザイン演習	57.0	2	Photoshop を用い HP や紙面の基本デザインや画像処理方法を学び、CAD の基礎も学びます。
プログラミング言語	57.0	2	Excel の応用及びプログラミングの基礎となる VBA を学びます。
貿易実務	57.0	2	国際貿易の事務処理、資本取引や貿易取引の制限など実践的な知識を学びます。
プレゼンテーション演習 II	57.0	2	1年次の基礎をもとに、PowerPoint の応用とレポートなどの具体的な発表方法について学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 ワープロ演習	ビジネスマナー	就職対策 I	ライセンス対策 I	ビジネス日本語 I
2	10:25 11:35 ライセンス対策 I	日本語 I	ビジネス コミュニケーション	マーケティング I	日本語 I
3	11:50 13:00 日本語 I	キャリアデザイン I	日本語 I	日本語 I	ビジネス文書
4	12:35 13:45				
4	14:00 15:10	日本語 I	情報リテラシー		プレゼンテーション 演習 I

めざせる資格

- ▼日本語ワープロ検定
- ▼情報処理技能検定 表計算
- ▼パソコンスピード認定試験 日本語
- ▼日本漢字能力検定
- ▼日本語学力テスト
- ▼J.TEST実用日本語検定
- ▼実践日本語コミュニケーション検定
- ▼サービス接客検定
- ▼実用英語技能検定
- ▼秘書検定



国際ビジネス科

(留学生対象)

▶教養コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
日本語 I	342.0	12	専門的な学習に対応できる日本語力を養うとともに日本語の各種資格試験対策も行います。
キャリアアップ I	57.0	2	英語の基本や日本における一般常識の各分野（日本語、文化、社会）また日本事情についても学びます。
キャリアデザイン I	57.0	2	理系分野の基礎事項と一般教養としての時事問題や現代用語などを学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
オフィスアプリケーション I	114.0	4	表計算ソフト Excel の機能と基本操作を学びます。
ワープロ演習	57.0	2	ワープロ機能による文章作成の基本を学びます。ワープロ検定対策も行います。
マーケティング I	57.0	2	自由主義経済社会の市場に関する基礎を学びます。また、日本留学試験「総合科目」の経済分野に関する基礎も学びます。
プレゼンテーション演習 I	57.0	2	プレゼンテーションソフト PowerPoint の学習を基礎から始め、自らの企画を要領よく聞き手に伝える技術について学びます。
ビジネス日本語 I	57.0	2	ビジネスの現場で求められる日本語を基礎から学びます。他、日本語に関する各種資格試験対策も行います。
総合科目 I	57.0	2	日本および世界の地理、歴史を基礎から学びます。日本留学試験の「総合科目」に対応できる基礎固めをします。
ビジネスマナー	57.0	2	日本社会で通用する社会人としての礼儀作法や日本独特の習慣などを学びます。また秘書検定対策も行います。
数学 I	57.0	2	日本留学試験の「数学コース1」に対応できる基礎と応用を学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
日本語 II	342.0	12	日本語の四技能をさらに伸ばし、上級レベルの日本語資格の取得をめざします。
企業実務基礎	57.0	2	日本社会で就労する際に必要な法律の知識及び労働法規及び簿記会計を基礎から学びます。
キャリアアップ II	57.0	2	1年次の基礎をもとに英語及び一般常識の各分野（日本語、文化、社会）また日本事情についても学びます。
キャリアデザイン II	57.0	2	1年次の基礎をもとに理系分野の応用と一般教養としての時事問題や現代用語などを学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
オフィスアプリケーション II	114.0	4	Word、Excel の応用技術について学びます。
プレゼンテーション演習 II	57.0	2	1年次の基礎をもとに、主に PowerPoint の応用について学びます。
ビジネス日本語 II	57.0	2	J.TEST 実用日本語検定、ビジネス能力検定ジョブパス、秘書検定対策を行います。
総合科目 II	57.0	2	1年次の基礎をもとに「日本留学試験」及び大学での2次試験にも対応できるように地理・歴史・政治・経済分野の応用を学びます。
マーケティング II	57.0	2	1年次の基礎をもとに更に流通や取引などの実践的な知識を学びます。また、日本留学試験「総合科目」の経済分野についても学びます。
デザイン演習	57.0	2	Photoshop を用い HP や紙面の基本デザインや画像処理方法を学び、CAD の基礎も学びます。
貿易実務	57.0	2	国際貿易の事務処理、資本取引や貿易取引の制限など実践的な知識を学びます。日本留学試験「総合科目」(政治・経済分野) 対策も行います。
数学 II	57.0	2	1年次の基礎をもとに日本留学試験「数学コース1」や大学2次試験の数学の問題に対応できるように学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 オフィス アプリケーション I	キャリアアップ I	ビジネスマナー	オフィス アプリケーション I	ビジネス日本語 I
2	10:25 11:35 日本語 I	キャリアデザイン I	数学 I	日本語 I	日本語 I
3	11:50 13:00 総合科目 I	ワープロ演習	日本語 I	プレゼンテーション 演習 I	情報リテラシー
4	12:35 13:45				
4	14:00 15:10	日本語 I		マーケティング I	日本語 I

めざせる資格

- ▼日本語ワープロ検定
- ▼情報処理技能検定 表計算
- ▼パソコンスピード認定試験 日本語
- ▼日本漢字能力検定
- ▼日本語学力テスト
- ▼J.TEST実用日本語検定
- ▼実践日本語コミュニケーション検定
- ▼サービス接客検定
- ▼実用英語技能検定
- ▼秘書検定



ゲームクリエイター科

▶ゲーム企画コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ゲームプランニング I	199.5	7	アイデア発想、コンセプトの立案、企画書作成・キャラクター設定など総合的に企画作成を学びます。
シナリオ	57.0	2	シナリオの構成、記述形式などシナリオの基本的な書き方を学び、実際にシナリオの作成を行います。また既存の作品分析を行い、世界観の設定やキャラクタ設定、選択肢のポイントなども学びます。
CG概論	57.0	2	CG理論を中心に2D、3Dの基礎およびCGに必要な数学を学びます。
プレゼンテーション	57.0	2	いろいろなジャンルに合わせた実践的な作品表現とプレゼンテーションを学びます。また、コミュニケーション（TPO、立場理解、話し方、共感）・ネゴシエーション（交渉方法、ニーズ把握）についても学びます。
CG制作	114.0	4	2D・3Dのグラフィックの基礎とPhotoshop・Mayaなどのツールの使用を学びます。
ゲームプログラミング I	171.0	6	プログラミングの基礎とオブジェクト指向プログラミングの基礎を学びます。
コンピュータ基礎	57.0	2	ゲーム制作に必要なコンピュータの基礎知識を体系的に学びます。
アルゴリズム	28.5	1	図式化などを利用し、プログラム作成に必要な手順を学びます。
ゲームデザイン	57.0	2	ゲーム業界の歴史や最新情報を知ることでのような人材を求めているか、また、今後の業界動向などを学びます。
ゲーム数学	28.5	1	ベクトル、行列、三角関数などゲーム開発に必要な数学および物理を学びます。
マーケティング	57.0	2	市場調査やゲーム業界の動きなどを学びます。
ゲームエンジン I	85.5	3	Unity（ゲームエンジン）を利用し、ゲーム開発手法を学びます。ゲームコンテンツ制作を行います。

■1年次総授業時数1026（36単位）

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ゲームプランニング II	57.0	2	ゲーム企画・仕様書を制作し、チーム内での役割分担、スケジュール管理方法などを学びます。
UIデザイン	57.0	2	UIに関する基礎知識と定義から基本構築法を学びます。
ゲームプログラミング II	85.5	3	ゲームプログラミング方法やDirectXなどを学びます。
Javaプログラミング	85.5	3	Java言語について基礎から応用まで学び、Javaプログラミング能力検定試験の取得をめざします。
スマートフォンアプリ開発	114.0	4	スマートフォンやタブレットなどで動作するゲームの作成方法を学びます。
ゲームサウンド	28.5	1	ゲーム効果音やBGMなどのゲームサウンド作成の基礎を学びます。
ゲームエンジン II	85.5	3	Unreal Engine（ゲームエンジン）を利用し、ゲーム開発手法を学びます。
ゲーム制作	57.0	2	就職作品制作およびコンテストやイベント出展作品の制作を行います。
卒業制作	399.0	14	ゲームクリエイター科とゲームエンジニア科の合同でチームを編成し、より実践的なゲーム開発を学びます。完成した作品は卒業制作展で展示します。

■2年次総授業時数1026（36単位）

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10			ゲームエンジン	
2	10:25 11:35	UIデザイン	Java プログラミング	ゲームプランニング II	Java プログラミング
3	11:50 13:00	UIデザイン	ゲームエンジン	ゲーム プログラミングII	
	12:35 13:45				ゲームサウンド
4	14:00 15:10	ゲームプランニング II	ゲーム プログラミングII	ゲーム制作	就職対策 II
5	15:25 16:35	ゲーム プログラミングII	就職対策 II		ゲーム制作

めざせる資格

- ▼CGエンジニア検定
- ▼ビジネス・キャリア検定(マーケティング)
- ▼ITパスポート
- ▼Java™プログラミング能力認定試験



ゲームクリエイター科

▶ゲームCGコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
デッサン I	171.0	6	観察力を養い、立体や空間の表現、描写方法を学びます。
デザイン論	85.5	3	芸術・文化（歴史・絵画・映画）、色彩デザイン、質感、構成を学び、作品にオリジナリティを発揮できるようにします。
CG概論	57.0	2	CG理論を中心に2D・3Dの基礎およびアニメーションの基礎を学びます。
ゲームグラフィックス I	57.0	2	2Dキャラクターのポーズ・設定・レイアウトバランスなどのキャラクター制作・パース制作を学びます。
UIデザイン	57.0	2	UIに関する基礎知識と定義から基本構築法を学びます。
CG制作 I	228.0	8	2D・3Dグラフィックの基礎とPhotoshop・Mayaなどのツールの使用を学びます。
ポートフォリオ制作 I	199.5	7	コンセプト・構成・設定などを考え、就職用作品を制作します。
コンピュータ基礎	57.0	2	ゲーム制作に必要なコンピュータの基礎知識を体系的に学びます。
ゲームデザイン	57.0	2	ゲーム業界の歴史や最新情報を知ることでのような人材を求めているか、また、今後の業界動向などを学びます。

■1年次総授業時数1026（36単位）

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
CG制作 II	114.0	4	3DCGゲームを意識したローポリゴンモデリングによるデータ作成を学びます。またUVテクスチャの利用方法やアニメーション・UIデザインを中心に学びます。
デッサン II	57.0	2	人体（生物）の骨格や構造を理解し、絵に表現する方法を学びます。
ポートフォリオ制作 II	142.5	5	就職活動で企業に提出するための自分オリジナルの作品集（ポートフォリオ）の制作を行います。
プレゼンテーション	28.5	1	いろいろなジャンルに合わせた実践的な作品表現とプレゼンテーションを学びます。
映像制作	85.5	3	実写映像とCGキャラクターなどのCG作品を合成し、オープニングムービー・イベントムービー・エンディングムービー・コマーシャルムービーの制作を学びます。
ゲームエンジン	85.5	3	Unreal EngineおよびUnity（ゲームエンジン）を利用し、ゲーム開発手法を学びます。
Webデザイン	57.0	2	HTMLとCSSを用いたWebサイトの作成方法を学びます。
卒業制作	399.0	14	ゲームクリエイター科とゲームエンジニア科の合同でチームを編成し、より実践的なゲーム開発を学びます。完成した作品は卒業制作展で展示します。

■2年次総授業時数1026（36単位）

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	ポートフォリオ制作 II		ゲームエンジン	就職対策 II
2	10:25 11:35	ポートフォリオ制作 II	Webデザイン	ポートフォリオ制作 II	ゲームエンジン
3	11:50 13:00			ポートフォリオ制作 II	ポートフォリオ制作 II
	12:35 13:45	CG制作 II		CG制作 II	
4	14:00 15:10	CG制作 II	デッサン II	CG制作 II	
5	15:25 16:35	ゲームエンジン	デッサン II	就職対策 II	

めざせる資格

- ▼CGクリエイター検定
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼ITパスポート



ゲームエンジニア科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
コンピュータ概論	114.0	4	ハードウェア、コンピュータシステム、ネットワークなどの基礎を幅広く学びます。
ゲームアルゴリズム	57.0	2	図式化などを利用し、ゲームプログラミングに必要なアルゴリズムを学びます。
ゲームプログラミングⅠ	285.0	10	C言語、C++言語などの基本的な文法から、Windowsプログラミングやグラフィック描画、入力制御などゲームプログラミングに必要な技術を学びます。
ゲーム数学	57.0	2	ベクトル、行列、三角関数などゲーム開発に必要な数学および物理を学びます。
ゲームグラフィックス	57.0	2	2DCGツール（Photoshop）や3DCGツール（Maya）を利用し、モデリングやテクスチャマッピングを学びます。
CG概論	85.5	3	ゲームプログラミングに必要な画像処理を中心に、CG理論、2D、3Dの基礎を学びます。
Linux演習Ⅰ	114.0	4	Linuxの基礎知識とコマンドを使った操作方法を学びます。
データベース演習	57.0	2	データベースの必要性と活用事例、SQLによるデータ操作方法、データベース構築方法を学びます。
ゲームプランニング	28.5	1	アイデア発想からコンセプトの立案・企画制作、仕様書作成方法まで総合的に学びます。また、設計における検討事項、ならびにプロジェクト運用・管理の手法、問題点の解決法などの開発進捗に対する取り組みについても学びます。
UIデザイン	28.5	1	UIに関する基礎知識と定義から基本構築法を学びます。
ゲーム制作Ⅰ	85.5	3	Cocos2d-x（ゲームエンジン）を利用し、ゲームエンジンの仕組みやゲームアルゴリズムなどゲーム開発の基本を学びます。

■1年次総授業時数1026（36単位）

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ゲームプログラミングⅡ	142.5	5	PC向けマルチメディア開発ライブラリDirectXによるプログラミング手法、2D・3D描画手法、入力制御、音楽／動画再生のプログラミングを学びます。
シェーダプログラミング	142.5	5	光の反射や陰影をつけるためのシェーダプログラムを学習し、リアルな映像を映し出す技術を身に付けます。
AIシミュレーション	57.0	2	代表的なアルゴリズムの経路探索・空間分割・戦闘・集団アルゴリズム、AIシミュレーションなどを学びます。
ツール開発	85.5	3	ゲームを効率的に開発するためのツールを作成しながら、高度なWindowsプログラムを学びます。
ネットワーク基礎	57.0	2	オンラインゲーム制作に必要なTCP/IPの各プロトコルの基礎を学びます。
ネットワークプログラミング	57.0	2	ソケットを利用した通信プログラムの作成方法を学びます。
ゲームデザイン	57.0	2	ゲーム業界の歴史や最新情報を知ることでのような人材を求めているか、また、今後の業界動向などを学びます。
Javaプログラミング	57.0	2	Java言語について基礎から応用まで学び、Javaプログラミング能力検定試験の取得をめざします。
Linux演習Ⅱ	85.5	3	Linuxを使ったサーバ構築と運営の方法を学びます。
プログラムデザイン	57.0	2	オブジェクト指向における再利用のためのデザインパターン（GoF）を学びます。
ゲームエンジンⅠ	57.0	2	Unity（ゲームエンジン）を利用し、ゲーム開発手法を学びます。
ゲーム制作Ⅱ	114.0	4	ゲーム業界への就職に必要な作品制作と作品プレゼンテーション技法を学びます。

■2年次総授業時数1026（36単位）

3 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
スマートフォンアプリ開発	85.5	3	スマートフォンやタブレットなどで動作するゲームの制作方法を学びます。
サーバプログラミング	114.0	4	ソケット、スレッド、I/OCPを使ったプログラミングの実習やゲームサーバの立ち上げ、MMOの仕組みや各サーバの役割を理解し、ゲーム開発に必要な知識・技術を総合的に学びます。
プレゼンテーション	57.0	2	ゲーム企画やプログラム作品を題材にプレゼンテーション技法を学びます。また、コミュニケーション（TPO、立場理解、話し方、共感）・ネゴシエーション（交渉方法、ニーズ把握）をポイントに学びます。
ゲームエンジンⅡ	85.5	3	Unreal Engine（ゲームエンジン）を利用し、ゲーム開発手法を学びます。
ゲームサウンド	28.5	1	ゲーム効果音やBGMなどのゲームサウンド作成の基礎を学びます。
応用ゲーム技術	114.0	4	最新技術を取り入れたゲーム開発の方法を学びます
ゲーム制作Ⅲ	85.5	3	就職作品制作およびコンテストやイベント出展作品の制作を行います。
卒業制作	399.0	14	ゲームクリエイター科とゲームエンジニア科の合同でチームを編成し、より実践的なゲーム開発を学びます。完成した作品は卒業制作展で展示します。

■3年次総授業時数1026（36単位）

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 スマートフォン アプリ開発				ゲーム制作Ⅲ
2	10:25 11:35 サーバ プログラミング	スマートフォン アプリ開発	ゲームエンジンⅡ	スマートフォン アプリ開発	ゲームサウンド
3	11:50 13:00 サーバ プログラミング		サーバ プログラミング	サーバ プログラミング	応用ゲーム技術
4	14:00 15:10 ゲーム制作Ⅲ	ゲーム制作Ⅲ	応用ゲーム技術	ゲームエンジンⅡ	
5	15:25 16:35 ゲーム制作Ⅲ	ゲームエンジンⅡ	就職対策Ⅲ	就職対策Ⅲ	

めざせる資格

- ▼CGエンジニア検定
- ▼基本情報技術者
- ▼ITパスポート
- ▼Java™プログラミング能力認定試験



CGクリエイター科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
CG制作基礎実習Ⅰ	142.5	5	3DCG制作ソフトである3dsMaxの基本操作を学習し、CG制作の基礎を学びます。
CG制作基礎実習Ⅱ	142.5	5	CG制作基礎実習Ⅰで修得したことを元に、より実践力を身につけます。
グラフィックツール実習	114.0	4	写真の加工やレイアウトなどPhotoshopやIllustratorの学習を通してデザインの基礎技術を身につけます。
デッサン	114.0	4	石膏像やさまざまな材質のものをモチーフにして、素材に対する観察力や描写力を育成します。
色彩演習	57.0	2	クリエイターに必要な色彩の知識を実習を通して学びます。色彩士検定合格をめざします。
放送機器技術	57.0	2	撮影の基礎やビデオ編集の基礎など実写映像制作の知識や技術を学びます。
DTV	114.0	4	ノンリニア編集を学習し、CG映像や実写映像の編集加工を行う技術を学びます。
CG概論	142.5	5	CGに関する基本的な知識を修得し、CGクリエイター検定合格をめざします。
マルチメディア基礎	57.0	2	マルチメディアとは、文字、映像、音楽などコンピュータで扱えるすべての情報のことで、それを使い何ができるのか、利用するためにはどのような機器が必要かなど基本を学びます。マルチメディア検定合格をめざします。
コンピュータ基礎	28.5	1	コンピュータの基礎的操作やWord、Excelの基本操作、応用について学びます。

■1年次総授業時数1026（36単位）

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
CG制作実習	171.0	6	1年次に学習した内容を踏まえて、高度な3DCG映像制作に必要な技術、知識を学びます。
卒業制作	285.0	10	グループまたは個人で2年間の集大成となる、CG作品を制作します。
CGプレゼンテーション実習	57.0	2	自分の企画や作品をわかりやすく説明するためのプレゼンテーション法を身につけます。
デザイン実習	114.0	4	デッサンやイラストレーションを通して、静止画作品を作るために必要な技術を学びます。
企画構成演習	57.0	2	映像制作に必要な作品の設計方法、絵コンテの描画方法などを学びます。
実写合成演習	114.0	4	実写映像とCG映像の合成技術を駆使し、TVや映画で行われているような映像制作を学びます。
CG応用実習Ⅰ	57.0	2	スカルプトモデリングやモーション制作ソフト等、新しいCG技術を学習し高度なCG制作を学びます。
CG応用実習Ⅱ	57.0	2	高度な3DCG制作に必要な3dsMaxでのエクステンションの使用法やスクリプトの記述法を学びます。
CGスクリプト	57.0	2	Javaスクリプトの基礎を習得し、Adobe AfterEffectsでの応用やエクステンションの使用法を学びます。

■2年次総授業時数1026（36単位）

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 放送機器技術	DTV	放送機器技術	CG制作基礎実習Ⅱ	就職対策Ⅰ
2	10:25 11:35 CG制作基礎実習Ⅱ	CG制作基礎実習Ⅱ	CG制作基礎実習Ⅱ	CG制作基礎実習Ⅱ	マルチメディア基礎
3	11:50 13:00 CG概論	デッサン	CG概論	色彩演習	グラフィックツール 実習
4	14:00 15:10 DTV		デッサン	グラフィックツール 実習	
5	15:25 16:35 CG制作実習				

めざせる資格

- ▼CGクリエイター検定
- ▼マルチメディア検定
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼映像音響処理技術者



Webクリエイター科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
Webデザイン	199.5	7	DreamweaverやFireworksを活用してホームページのデザインを学びます。
デジタルデザイン	171.0	6	すべてのグラフィックデザインにおいて必要なアプリケーション(Photoshop・Illustrator)を修得し、デザイン・表現方法を学びます。
Web制作 I	85.5	3	ホームページのコーディングにおいて、情報構造(HTML)とスタイル(CSS)を完全に分離し、CSSによるページレイアウトを学びます。
Flashアニメーション	57.0	2	インタラクティブコンテンツに適したFlashの基本的な使用方法や機能を学び、Flashムービーを制作します。
WordPress基礎	28.5	1	WordPressでデータカスタマイズからCMSサイト構築までできるよう、インストール、基本設定方法等を学びます。
デザイン理論	28.5	1	印刷物を中心にさまざまなメディアにおいて表現されたデザインについて実例をもとにその表現方法を考察し、理論的にデザインする方法を学びます。
DTPデザイン	57.0	2	ロゴ・地図などのデザイン要素やポスター・DMなどの各種印刷媒体についてのデザイン技術の基礎能力を、制作を通じて学びます。
色彩演習	57.0	2	デザインにおける色の効果的な使い方や色彩の基本を修得し、カラーマスターの資格取得をめざします。
広告概論	57.0	2	広告宣伝のあり方や社会での位置づけ、商用サイト構築のためのマーケティングの基礎を学びます。
プランニング	57.0	2	企画の立案からプレゼンテーションまでの流れを学びます。
インターネット基礎	57.0	2	インターネットの歴史とWebの特性・種類、Webサイトを制作するうえで必要とされる基礎を学びます。
マルチメディア基礎	57.0	2	マルチメディアとは、文字、映像、音楽などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要なのかなど基本を修得します。
IT基礎	57.0	2	コンピュータの基礎的概要についてパソコンからデータ通信まで幅広く学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
Web制作 II	114.0	4	複数パターンのWebサイトを制作し上級レベルの技術修得をめざします。
jQueryデザイン	57.0	2	JavaScriptのライブラリを利用し、Webサイトにアニメーションなどのエフェクトの組みみやユーザビリティを向上するナビゲーションの制作などjQuery技術を修得します。
Webディレクション	28.5	1	Webサイト全体の制作プロセスを学び、Webディレクターに求められる能力を身につけます。
UIデザイン	114.0	4	スマートフォン、タブレットPC向けアイコン制作をはじめ、画面設計、デザインカンパの作成について学習します。HTML5+CSS3の基礎を学び、スマートフォンサイト制作をします。またタブレットPCなどで読める電子書籍コンテンツも制作します。
グラフィックデザイン	114.0	4	さまざまなメディアでのデザインを実践的に学びます。
コピーライティング	28.5	1	キャッチコピーの要素、表記、論理などコピーライティングに必要な基礎と表現技法を修得します。
映像編集	57.0	2	After Effectsで映像のデジタル合成やモーション・グラフィックス、タイトル制作など映像表現を学びます。
3DCG	114.0	4	3DCGソフトShadeを使い、モデリング、テクスチャマッピング、ライティング、レンダリング、アニメーションの手法を学びます。
プレゼンテーション	28.5	1	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成ツールであるPowerPointを学びます。
ビジネススキルトレーニング	28.5	1	ビジネス社会で必須とされるアプリケーションソフト(Word・Excel)を学びます。
卒業制作	285.0	10	2年間の集大成として、個人またはグループ毎にテーマを設け作品制作を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 Flash アニメーション	マルチメディア基礎	Web制作 I	マルチメディア基礎	Flash アニメーション
2	10:25 11:35	WordPress基礎	プランニング	広告概論	色彩演習
3	11:50 13:00	Web制作 I		DTPデザイン	Web制作 I
4	12:35 13:45				就職対策 I
5	14:00 15:10	IT基礎	Webデザイン		DTPデザイン
6	15:25 16:35		Webデザイン		

めざせる資格

- ▼Webデザイナー検定
- ▼マルチメディア検定
- ▼情報検定(J検)
情報活用試験
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス



デジタルデザイン科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ベーシックデザイン	28.5	1	実際にデザインの現場で行われている制作プロセスとしての企画制作のノウハウを修得します。
デザイン演習	57.0	2	各種媒体、カテゴリーの制作実習を修得します。また、デザインの独自の制作手法も修得します。
デッサン造形	114.0	4	基本的描写力を養い、洞察力と感性を磨くための素描訓練を行います。
色彩演習	57.0	2	デザインにおける色の効果的な使い方や色彩の基本を修得し、カラーマスターの資格取得をめざします。
Macベーシック	142.5	5	Macの基本操作から、IllustratorやPhotoshopなどのソフトの基本的な操作方法を修得。デザインをする上で必要な基本ツールを理解し、作品制作を通してMacツールの使い方を修得します。
DTPデザイン I	114.0	4	IllustratorやPhotoshopを使ってデスクトップパブリッシングの操作方法を修得、各自のアイデアをデジタルで作品化します。
3DCG制作 I	114.0	4	3DCGソフトの操作方法を学習して、立体的なキャラクターなどをデザインする方法を学びます。
キャラクターイラスト	114.0	4	マスコットキャラクターを中心に、ゲームやマンガなどの魅力的なキャラクターの描き方を学びます。
インターネット基礎	57.0	2	インターネットの特性や種類、Webサイトを制作するために必要な基礎知識を学びます。
Web制作	85.5	3	作品をネットで公開できるように、Webサイトの制作手法とデザインを学びます。
デジタルアニメ	28.5	1	アニメ制作の現場で使用されているソフトの使い方を学びます。
ビジネススキルトレーニング I	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ビジュアルデザイン	57.0	2	平面作品から立体・映像作品まで、ビジュアル作品制作を通して制作ノウハウを身につけます。
イラストレーション	85.5	3	ビジュアル表現の重要エレメントとして、さまざまなイラストレーションの描き方を学びます。
ブランドデザイン	57.0	2	企業内意識改革を目的としたCI計画やブランディングも含めた情報計画を実践で学び、デザインプレゼンテーションを行います。
実践デザイン	57.0	2	グラフィックデザインのトータルな仕事の流れを、媒体別制作により実践授業を行い、それぞれの制作ハウツーを修得します。
DTPデザイン II	228.0	8	デスクトップパブリッシングソフトを活用して、それぞれのアイデアを具現化する作品づくりをめざします。
Webデザイン	114.0	4	Webサイトをデザインするソフトの操作方法を学びます。
3DCG制作 II	114.0	4	3DCGによる様々な表現方法を学びます。
デジタルコミック制作	57.0	2	多くのマンガ制作支援機能を持ったコミック制作ソフトの操作方法を学びます。
デジタル絵本作	28.5	1	紙の絵本では表現できない体験が可能な絵本の作り方を学びます。
卒業制作	142.5	5	2年間の集大成として、作品の制作を行います。
ビジネススキルトレーニング II	28.5	1	ビジネス社会に必要なスキルやソフトを学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	DTPデザイン II	イラストレーション	ビジュアルデザイン	デジタルコミック 制作
2	10:25 11:35	ビジュアルデザイン	DTPデザイン II	実践デザイン	DTPデザイン II
3	11:50 13:00			Webデザイン	
4	12:35 13:45	ビジネススキル トレーニング II	就職対策 II		就職対策 II
5	14:00 15:10	イラストレーション	ブランド デザイン		3DCG制作 II
6	15:25 16:35				

めざせる資格

- ▼アドビ認定アソシエイト Photoshop
- ▼アドビ認定アソシエイト Illustrator
- ▼CGクリエイター検定
- ▼Webデザイナー検定
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼DTP検定
- ▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
デジタルミュージック基礎	114.0	4	DAW、ボーカロイドソフトやデジタル機器を使用した音楽制作や編曲の方法について学びます。
デジタルミュージック応用	114.0	4	コンピュータやデジタル機器とさまざまな楽器を使用して、オリジナリティあふれたデジタル音楽の制作方法を学びます。
作編曲基礎	114.0	4	曲作りの基礎を学び、各自の感性で自由に音楽を作ったり、音楽を内面から感じる力の表現を養います。
マニピュレート I	57.0	2	「打ち込み音楽」(ソフトを用いて作成する音楽)やアナログ機器における音色の作り方を学びます。
楽器演奏実習	114.0	4	電子機器のみならず、ギター、ベース、ドラムなどアナログ楽器の演奏と、各種楽器のアンサンブルを学びます。
キーボード実習 I	57.0	2	楽器としてのキーボード操作の基礎を学びます。キーボード操作に慣れている人には個別のレベルアップレッスンをを行います。
ヴォイストレーニング I	57.0	2	呼吸方法や発声の仕方、歌い方の基本を身につけます。また、イヤートレーニングも行います。
音響システム	114.0	4	電気的基础知識、音響機器、ホール音響などを学び、舞台機構調整技能士合格をめざします。
音響実習 I	57.0	2	音響機器ミキシング、トラックダウン録音技術や音響デザインを学びます。舞台機構調整技能士合格のための重要科目です。
音楽理論	57.0	2	ゲーム、ポピュラー音楽、ロック、ジャズなどのコード進行を学び、各ジャンルのアドリブの考え方を修得します。
マルチメディア概論	57.0	2	音響、映像、画像などコンピュータで扱える全ての情報をどのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学びます。
ビジネススキルトレーニング I	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
オリジナル CD 制作	342.0	12	デジタル機器、各種ソフト楽器を使い、身につけた知識やテクニックを駆使し、オリジナルの楽曲作成にチャレンジします。完成したマスターデータからオンリーワンCDを作成する過程を学びます。
作編曲実習	57.0	2	さまざまなジャンルの音楽に触れながら、数多くのオリジナル曲を制作することにより、表現力豊かな音楽を作れるように実習します。
マニピュレート II	57.0	2	コンピュータやアナログ機器で「音色」を追究します。また、波形編集ソフトを使いハイレベルな音楽制作技術を身につけます。
バンドアンサンブル実習	171.0	6	バンドを組み、各楽器の音作りや楽曲ごとの表現方法を学びます。またコンピュータで作った音楽とアナログ音楽とのコラボレーションも実現でき、音楽の楽しさが広がります。
キーボード実習 II	57.0	2	キーボード実習 I で身につけたテクニックを、さまざまなジャンルの音楽に対応できるような応用力を養成する科目です。
ヴォイストレーニング II	57.0	2	音楽における重要要素である「歌」「聴音力」について、コーラスやヴォイストレーニング、イヤートレーニングを通して学びます。
音響実習 II	57.0	2	録音技術の修得に必要な、音響機器の利用方法や PA 機器の運用方法を学びます。
ビジネススキルトレーニング II	114.0	4	ビジネスにおける基本アプリケーションである、Word、Excel、PowerPoint を学び、MOS の合格をめざします。
専攻実習	57.0	2	ギター/ベース/ドラム/キーボード/ヴォーカル/音響の中から1つ選択し更にそれぞれ高度な技術・知識をつけるべく集中して実習。複数や全科授業も選択できます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

Curriculum

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:10 楽器演奏実習	音響システム	デジタルミュージック 応用	音響システム	作編曲基礎
2	10:25 ~ 11:35 楽器演奏実習	キーボード実習 I	デジタルミュージック 応用	音楽理論	作編曲基礎
3	11:50 ~ 13:00 就職対策 I		ヴォイス トレーニング I	デジタルミュージック 基礎	ビジネススキル トレーニング I
4	12:35 ~ 13:45				
5	14:00 ~ 15:10 デジタルミュージック 基礎	マニピュレート I		音響実習 I	
6	15:25 ~ 16:35	マルチメディア概論			

めざせる資格

- ▼MIDI検定
- ▼舞台機構調整技能士
- ▼サウンドレコーディング技術認定試験
- ▼マルチメディア検定
- ▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)



映像放送科

▶映像演出コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
メディア概論	57.0	2	マルチメディアとは、画像、映像、音響などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学修します。
ビジネススキルトレーニング	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトや、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学修します。
企画プレゼンテーション	28.5	1	コンテンツ制作の目的、内容、出演者、制作スケジュール、スタッフ、予算などを決め、現場で通用する企画書にまとめ、プレゼンテーションスキルや実際の現場運営などを学修します。
放送システムⅠ	114.0	4	テレビの原理や放送機器、制作機器の動作や処理方法、デジタル機器や放送の仕組み、イベント映像システムなどを学修します。
サウンドシステム	114.0	4	音源や音響の基礎、音響機器の種類、構造、機能、用途やミキシング技術、音響デザイン、機器メンテナンスなどを学修します。
照明技術Ⅰ	114.0	4	照明機器、照明工学などを学び、更に舞台設備、舞台用語、安全衛生、関係法規など、舞台照明からテレビ照明の基本を学修します。
カメラワーク実習	57.0	2	映像表現に必要な不可欠なカメラワーク（ポジション・アングル・サイズ・カメラ操作・画面構成）を実習を通して学修します。
ノンリニア編集実習	57.0	2	ノンリニア編集に必要なアプリケーションソフトのオペレーションやDVDオーサリングを学修します。
画像編集実習	57.0	2	パソコンによる画像処理（画像作成、合成、効果）や利用方法を実習を通して学修します。
ヴォイス演習	57.0	2	アナウンスやレポートに欠かせない“ことば”で表現するための発音方法、発声方法、呼吸法などの音声表現技術を学修します。
アナウンス演習	57.0	2	アナウンサーやレポーターに必要な話しことば、聞くポイント、ことばの選び方など“ことば”の表現方法を学修します。
構成演習	114.0	4	企画内容を具体化するために必要な考え方、表現方法、台本作成、構成、制作過程、スタッフの役割、責任などを学修します。
台本シナリオ演習	57.0	2	番組制作に必要な身の周りの出来事や情報を集め、企画、構成、台本にするための方法や言葉で表現するための文章表現を学修します。
取材インタビュー実習	28.5	1	あらゆるシチュエーションを想定して、番組構成に必要な取材能力や幅広いジャンルで“その場の空気”を伝えるインタビュー者としてのスキルを学修します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
放送システムⅡ	57.0	2	プロダクション業務（ニュース取材、スポーツ取材、ドラマ、テレビ中継）、デジタル放送（ハイビジョン放送、データ放送、ワンセグ放送）、イベント映像などを学修します。
照明技術Ⅱ	114.0	4	対談番組や歌番組制作実習を通して、作業に関する安全衛生や関係法規、実践的なライティングプランと技術を学修します。
ロケーション番組制作実習	171.0	6	制作スタッフチームを編成し、オールロケーション番組を制作します。イメージを具体化する撮影から、編集、MA処理、完パケ実習を通じて、「創る楽しさ」や番組制作に必要なチームワーク、スタッフの関係と役割などを学修します。
スタジオ番組制作実習	171.0	6	スタジオ番組（トーク番組、ミュージック番組、ニュース番組）制作実習を通して、番組を創るための制作手法やスタッフの責任感や連帯感、関わりを学びながら実践的スキルを学修します。
ラジオ番組制作実習	85.5	3	“音”や“ことば”の表現の集大成として、ラジオ番組制作に挑戦し、演出スタッフ、進行（アナウンサー・レポーター）スタッフ、技術スタッフの関わりやクオリティーの高い制作テクニックを学修します。
アナウンサーレポーター実習	85.5	3	ニュースやレポートを行うために必要な取材能力、原稿作成、インタビューなど、ディレクションセンスを身につけた、アナウンサー、レポーターをめざし、実践的スキルを学修します。
映像演出ゼミナール	57.0	2	少人数のグループに分かれて、映像演出に関するテーマの研究やプレゼンテーションを通じて、専門スキルを向上させます。
卒業制作	228.0	8	2年間の集大成として、それぞれ学んできた技術、知識、知恵を活かし、「もの創り」にチャレンジします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10 就職対策Ⅰ	カメラワーク実習	放送システムⅠ	照明技術Ⅰ	サウンドシステム
2	10:25 ↓ 11:35 企画 プレゼンテーション	カメラワーク実習	メディア概論	照明技術Ⅰ	ビジネス スキルトレーニング
3	11:50 ↓ 13:00				
3	12:35 ↓ 13:45 ノンリニア編集実習	ノンリニア編集実習	アナウンス演習	サウンドシステム	構成演習
4	14:00 ↓ 15:10 放送システムⅠ	ヴォイス演習			構成演習
5	15:25 ↓ 16:35				

めざせる資格

- ▼話しことば検定
- ▼映像音響処理技術者
- ▼マルチメディア検定



映像放送科

▶制作技術コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
メディア概論	57.0	2	マルチメディアとは、画像、映像、音響などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学修します。
ビジネススキルトレーニング	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトや、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学修します。
企画プレゼンテーション	28.5	1	コンテンツ制作の目的、内容、出演者、制作スケジュール、スタッフ、予算などを決め、現場で通用する企画書にまとめ、プレゼンテーションスキルや実際の現場運営などを学修します。
放送システムⅠ	114.0	4	テレビの原理や放送機器、制作機器の動作や処理方法、デジタル機器や放送の仕組み、イベント映像システムなどを学修します。
サウンドシステム	114.0	4	音源や音響の基礎、音響機器の種類、構造、機能、用途やミキシング技術、音響デザイン、機器メンテナンスなどを学修します。
照明技術Ⅰ	114.0	4	照明機器、照明工学などを学び、更に舞台設備、舞台用語、安全衛生、関係法規など、舞台照明からテレビ照明の基本を学修します。
カメラワーク実習	57.0	2	映像表現に必要な不可欠なカメラワーク（ポジション・アングル・サイズ・カメラ操作・画面構成）を実習を通して学修します。
ノンリニア編集実習	57.0	2	ノンリニア編集に必要なアプリケーションソフトのオペレーションやDVDオーサリングを学修します。
画像編集実習	57.0	2	パソコンによる画像処理（画像作成、合成、効果）や利用方法を実習を通して学修します。
電気基礎	57.0	2	電気回路動作に必要な静電気、電流、電流の磁気作用や直流回路、交流回路などを学修します。
電子回路	57.0	2	電子回路の増幅作用、発振作用、変調作用、復調作用、整流作用などを学修します。
電気数学	57.0	2	電波やアナログ信号の解析や電気回路の回路解析に必要な基本的な数学について学修します。
スタジオ制作基礎実習	85.5	3	スタジオ番組制作に必要なスタジオのシステム（映像・音響）や機器の役割、働きなどを実習を通して学修します。
DTV実習	57.0	2	AfterEffectsの機能を理解し、課題制作を通して、デジタルエフェクトの活用方法や効果、表現テクニックを学修します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
放送システムⅡ	57.0	2	プロダクション業務（ニュース取材、スポーツ取材、ドラマ、テレビ中継）、デジタル放送（ハイビジョン放送、データ放送、ワンセグ放送）、イベント映像などを学修します。
照明技術Ⅱ	114.0	4	対談番組や歌番組制作実習を通して、作業に関する安全衛生や関係法規、実践的なライティングプランと技術を学修します。
ロケーション番組制作実習	171.0	6	制作スタッフチームを編成し、オールロケーション番組を制作します。イメージを具体化する撮影から、編集、MA処理、完パケ実習を通じて、「創る楽しさ」や番組制作に必要なチームワーク、スタッフの関係と役割などを学修します。
スタジオ番組制作実習	171.0	6	スタジオ番組（トーク番組、ミュージック番組、ニュース番組）制作実習を通して、番組を創るための制作手法やスタッフの責任感や連帯感、関わりを学びながら実践的スキルを学修します。
電波法規	28.5	1	無線通信に必要な電波法規やその他の電波法令について学修します。
通信工学	142.5	5	携帯電話や衛星通信などの各種通信方式、送受信機、無線関連設備、アンテナ理論など無線通信について学修します。
制作技術ゼミナール	57.0	2	少人数のグループに分かれて、制作技術に関するテーマの研究やプレゼンテーションを通じて、専門スキルを向上させます。
卒業制作	228.0	8	2年間の集大成として、それぞれ学んできた技術、知識、知恵を活かし、「もの創り」にチャレンジします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10 就職対策Ⅰ	カメラワーク実習	放送システムⅠ	照明技術Ⅰ	サウンドシステム
2	10:25 ↓ 11:35 企画 プレゼンテーション	カメラワーク実習	メディア概論	照明技術Ⅰ	ビジネス スキルトレーニング
3	11:50 ↓ 13:00				
3	12:35 ↓ 13:45 ノンリニア編集実習	ノンリニア編集実習	電気数学	サウンドシステム	電気数学
4	14:00 ↓ 15:10 放送システムⅠ	電気基礎		電気基礎	
5	15:25 ↓ 16:35				

めざせる資格

- ▼第一級陸上特殊無線技士
- ▼映像音響処理技術者
- ▼マルチメディア検定



音響制作科

▶レコーディングエンジニアコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
メディア概論	57.0	2	マルチメディアとは、画像、映像、音響などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学修します。
ビジネススキルトレーニング	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトや、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学修します。
企画プレゼンテーション	28.5	1	コンテンツ制作の目的、内容、出演者、制作スケジュール、スタッフ、予算などを決め、現場で通用する企画書にまとめ、プレゼンテーションスキルや実際の現場運営などを学修します。
映像システム I	114.0	4	テレビの原理や制作機器、放送機器の動作や処理方法、デジタル機器や放送の仕組み、イベント映像システムなどを学修します。
サウンドシステム	114.0	4	音源や音響の基礎、音響機器の種類、構造、機能、用途やミキシング技術、音響デザイン、機器メンテナンスなどを学修します。
照明技術 I	114.0	4	舞台設備、舞台用語、安全衛生、関係法規などを学び、更に照明機器、照明工学、舞台照明からテレビ照明の基本を学修します。
電気基礎	57.0	2	電気回路動作に必要な静電気、電流、電流の磁気作用や直流回路、交流回路などを学修します。
電子回路	57.0	2	電子回路の増幅作用、発振作用、変調作用、復調作用、整流作用などを学修します。
音楽理論	57.0	2	音響コンテンツ制作や音響表現に必要な楽典の形式や、楽器などについて学修します。
サウンドミキシング	57.0	2	あらゆる音響制作や音響表現に必要なミキシングテクニックを学修します。
ProTools実習	57.0	2	デジタル・オーディオ・ワークステーション (DAW：デジタルで音声の録音、編集、ミキシングなど一連の作業ができる一体型システム) の代表的システムのオペレーションを学修します。
マスタリング実習	28.5	1	コンテンツ制作の最終仕上げとなる原盤 (CD、DVD、ビデオテープ) 作成処理、マスタリングについて学修します。
スタジオ録音基礎実習	57.0	2	スタジオレコーディングに必要なスタジオのシステムや機器の役割、働きなどを実習を通して学修します。
MA基礎	114.0	4	ビデオポストプロダクション業務の音声処理工程について基本から制作処理まで学修します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
映像システム II	57.0	2	プロダクション業務 (ニュース取材、スポーツ取材、ドラマ、テレビ中継)、デジタル放送 (ハイビジョン放送、データ放送、ワンセグ放送)、イベント映像などを学修します。
照明技術 II	114.0	4	舞台やステージイベントに合わせたプラン作成から、仕込み、本番、撤収までをホール実習を通して実践的感覚を学修します。
コンピュータミュージック	57.0	2	音楽制作におけるコンピュータミュージックの役割を理解し、各楽器間の音楽的バランス、音像、定位等をコンピュータ上で学修します。
レコーディング実習	85.5	3	番組、コマーシャル、音楽、アテレコなど目的に合わせたレコーディングテクニックを学修します。
MA実習	114.0	4	ロケーション番組制作における、録音方法やオンライン編集後のMA (テレビやビデオ映像の編集作業後に行われる音声処理作業)、DAWによるMAを学修します。
スタジオ番組制作実習	171.0	6	スタジオ番組 (トーク番組、ミュージック番組、ニュース番組) 制作実習を通して、番組を創るための制作手法やスタッフの責任感や連帯感、関わりを学びながらテレビ音声テクニックを学修します。
ラジオ番組制作実習	85.5	3	ラジオ番組制作に挑戦し、演出スタッフ、進行 (アナウンサー・レポーター) スタッフの関わりや「ことば」、音楽、番組構成などに合わせた音響制作テクニックを学修します。
レコーディングゼミナール	57.0	2	少人数のグループに分かれて、レコーディングに関するテーマの研究やプレゼンテーションを通じて、専門スキルを向上させます。
卒業制作	228.0	8	2年間の集大成として、それぞれ学んできた技術、知識、知恵を活かし、「もの創り」にチャレンジします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金	
1	9:00 ~ 10:10	就職対策 I	MA基礎	映像システム I	照明技術 I	サウンドシステム
2	10:25 ~ 11:35	企画 プレゼンテーション	MA基礎	メディア概論	照明技術 I	ビジネス スキルトレーニング
3	11:50 ~ 13:00					
4	12:35 ~ 13:45	ProTools実習	ProTools実習	電気基礎	サウンドシステム	音楽理論
5	14:00 ~ 15:10	映像システム I	音楽理論			電気基礎
6	15:25 ~ 16:35					

めざせる資格

- ▼サウンドレコーディング技術認定試験
- ▼映像音響処理技術者
- ▼舞台機構調整技能士
- ▼マルチメディア検定



音響制作科

▶コンサートスタッフコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
メディア概論	57.0	2	マルチメディアとは、画像、映像、音響などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学修します。
ビジネススキルトレーニング	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトや、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学修します。
企画プレゼンテーション	28.5	1	コンテンツ制作の目的、内容、出演者、制作スケジュール、スタッフ、予算などを決め、現場で通用する企画書にまとめ、プレゼンテーションスキルや実際の現場運営などを学修します。
映像システム I	114.0	4	テレビの原理や制作機器、放送機器の動作や処理方法、デジタル機器や放送の仕組み、イベント映像システムなどを学修します。
サウンドシステム	114.0	4	音源や音響の基礎、音響機器の種類、構造、機能、用途やミキシング技術、音響デザイン、機器メンテナンスなどを学修します。
照明技術 I	114.0	4	舞台設備、舞台用語、安全衛生、関係法規などを学び、更に照明機器、照明工学、舞台照明からテレビ照明の基本を学修します。
電気基礎	57.0	2	電気回路動作に必要な静電気、電流、電流の磁気作用や直流回路、交流回路などを学修します。
電子回路	57.0	2	電子回路の増幅作用、発振作用、変調作用、復調作用、整流作用などを学修します。
音楽理論	57.0	2	音響コンテンツ制作や音響表現に必要な楽典の形式や、楽器などについて学修します。
サウンドミキシング	57.0	2	あらゆる音響制作や音響表現に必要なミキシングテクニックを学修します。
ProTools実習	57.0	2	デジタル・オーディオ・ワークステーション (DAW：デジタルで音声の録音、編集、ミキシングなど一連の作業ができる一体型システム) の代表的システムのオペレーションを学修します。
マスタリング実習	28.5	1	コンテンツ制作の最終仕上げとなる原盤 (CD、DVD、ビデオテープ) 作成処理、マスタリングについて学修します。
PA音声基礎実習	57.0	2	PA (拡声) システムのセットアップとオペレート及び出演者とのコミュニケーション手法を学修します。
舞台基礎演習	114.0	4	舞台・ステージ・イベント・コンサートを創り上げるために必要な音響、照明、美術などの知識を学修します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
映像システム II	57.0	2	プロダクション業務 (ニュース取材、スポーツ取材、ドラマ、テレビ中継)、デジタル放送 (ハイビジョン放送、データ放送、ワンセグ放送)、イベント映像などを学修します。
照明技術 II	114.0	4	舞台やステージイベントに合わせたプラン作成から、仕込み、本番、撤収までをホール実習を通して実践的感覚を学修します。
コンピュータミュージック	57.0	2	音楽制作におけるコンピュータミュージックの役割を理解し、各楽器間の音楽的バランス、音像、定位等をコンピュータ上で学修します。
レコーディング実習	85.5	3	番組、コマーシャル、音楽、アテレコなど目的に合わせたレコーディングテクニックを学修します。
ラジオ番組制作実習	85.5	3	ラジオ番組制作に挑戦し、演出スタッフ、進行 (アナウンサー・レポーター) スタッフの関わりや「ことば」、音楽、番組構成などに合わせた音響制作テクニックを学修します。
PA実習	114.0	4	ステージ演出の内容に合わせた音響プランニングから機材セッティング、オペレートなど実施的テクニックを学修します。
イベントスタッフワーク	171.0	6	イベントに関わる舞台演出、進行、音響、照明スタッフがチームとなってイベントを創り上げます。
コンサートスタッフゼミナール	57.0	2	少人数のグループに分かれて、コンサート、スタッフに関するテーマの研究やプレゼンテーションを通じて、専門スキルを向上させます。
卒業制作	228.0	8	2年間の集大成として、それぞれ学んできた技術、知識、知恵を活かし、「もの創り」にチャレンジします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金	
1	9:00 ~ 10:10	就職対策 I	舞台基礎演習	映像システム I	照明技術 I	サウンドシステム
2	10:25 ~ 11:35	企画 プレゼンテーション	舞台基礎演習	メディア概論	照明技術 I	ビジネス スキルトレーニング
3	11:50 ~ 13:00					
4	12:35 ~ 13:45	ProTools実習	ProTools実習	電気基礎	サウンドシステム	音楽理論
5	14:00 ~ 15:10	映像システム I	音楽理論			電気基礎
6	15:25 ~ 16:35					

めざせる資格

- ▼舞台機構調整技能士
- ▼サウンドレコーディング技術認定試験
- ▼映像音響処理技術者
- ▼マルチメディア検定



電気工事科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
コンピュータ基礎	57.0	2	ワープロソフトや表計算ソフトの基本的な操作方法について学びます。
電気通信技術	85.5	3	電気通信回線設備と端末設備の接続のための技術などを学びます。
通信関連法規	57.0	2	電気通信関連の法規についての概要を学びます。
太陽光発電技術	28.5	1	太陽光発電設備とその施工技術について学びます。
電気理論	142.5	5	直流回路・交流回路の基礎、各電気回路の計算方法、磁気や静電気について学びます。
配線設計	57.0	2	配電方式、引き込み線、配線やその設計法などについて学びます。
電気工用機器工具 I	57.0	2	電気工用の工具や材料、各種の電気機器の原理や動作、配線器具の構造などについて学びます。
施工方法	114.0	4	電気工事の方法、各種の電気機器の設置方法、電線やコードの取付け方法、接地工事などについて学びます。
電気工事実習 I	256.5	9	電気工事士として必要な基本的な電線の接続法、基礎的な配線工事などについて実習を行いながら学びます。また、基礎的な電気回路の測定実験を行います。
電気総合演習 I	85.5	3	1年間で学んだ知識、技能を活用し、電気工事の総合的な演習を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
コンピュータ応用	114.0	4	汎用CADを使用して基本図形の作図を行い、電気設備の図面を作成します。
電気工用機器工具 II	85.5	3	電気工用の工具や材料、各種の電気機器の原理や動作、配線器具の構造などについて学びます。
検査方法	28.5	1	電気設備の点検方法や、各種測定方法、測定機器の性能及び使用方法について学びます。
配線図	85.5	3	電気回路の基本製図、配線図の図記号や配線方法及び表示方法などについて学びます。
保安法令	85.5	3	電気工事業務に携わるのに必要な電気関係法規や、建設業法、建築基準法、消防法、労働安全衛生法など、関係法令を学びます。
電気工事実習 II	484.5	17	電気工事士として必要な電気機器・配線器具の設置、各種電気工事、設置工事、各種の測定法、検査や故障箇所の修理などを実習で学びます。また、設計、積算、シーケンス制御についても学びます。
電気総合演習 II	85.5	3	2年間で学んだ知識、技能を活用し、電気工事の総合的な演習を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:10 施工方法	電気理論	電気工事実習 I	施工方法	コンピュータ基礎
2	10:25 ~ 11:35 情報リテラシー	電気理論	電気工事実習 I	通信関連法規	通信関連法規
3	11:50 ~ 13:00 電気工用機器工具 I	配線設計		電気理論	電気理論
	12:35 ~ 13:45		電気工事実習 I		
4	14:00 ~ 15:10		電気工事実習 I	就職対策 I	
5	15:25 ~ 16:35		電気工事実習 I		

めざせる資格

- ▼第一種電気工事士
- ▼第二種電気工事士(卒業時に取得)
- ▼工事担任者
- ▼2級電気工事施工管理技術検定(実務経験2年以上)
学科試験のみ在学中に受験可能(認定校)
- ▼PV施工技術者
- ▼エネルギーマネジメントアドバイザー



ホームエレクトロニクス技術科 (旧: デジタル家電科)

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
電気基礎	114.0	4	電気関連の電気の基礎を学びます。
家電工学技術	85.5	3	主な家電製品の原理を学び、それに対応するメンテナンス技術を学びます。
通信ネットワーク	114.0	4	電気通信回線と家電製品の接続のための技術を学びます。
ホームエレクトロニクス	57.0	2	太陽光発電システム等と省エネ家電を統合したエネルギー管理システムの構造について学びます。
電気関連法規	57.0	2	電気関連の法規についての概要を学びます。
電気理論	85.5	3	直流回路・交流回路の基礎、各電気回路の計算方法、配電方式、配線やその設計法などについて学びます。
電気工用機器工具	57.0	2	電気工用の工具や材料、各種の電気機器の原理や動作、配線器具の構造などについて学びます。
施工方法	114.0	4	電気工事の方法、各種の電気機器の設置方法、電線やコードの取付け方法、接地工事などについて学びます。
電気工事実習	228.0	8	電気工事士として必要な基本的な電線の接続法、基礎的な配線工事などについて実習を行いながら学びます。
電気回路実習 I	57.0	2	電気回路の各素子について、その働きを回路実習を通して理解します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
マイコン制御技術	171.0	6	マイクロコンピュータのハードとソフトを学び、マイコン制御の仕組みを修得します。
デジタル回路	171.0	6	基本論理回路・フリップフロップ回路・レジスタ・カウンタなどの仕組みについて学びます。
電気回路実習 II	114.0	4	電気・電子回路の応用回路を、実習を通して理解します。
家電メンテナンス実習	171.0	6	家電分野の主な家電製品の設定やメンテナンスに関する実習を行います。
アプリケーション実習	114.0	4	ワープロソフトや表計算ソフトの基本的な操作法について学びます。
プレゼンテーション技法	114.0	4	修理業務に携わり、必要なプレゼンテーション技法を学びます。
家電制御研究	114.0	4	2年間、家電や電子制御の学習したことについて、より深くグループまたは個人で課題研究を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:10		家電メンテナンス実習		
2	10:25 ~ 11:35 アプリケーション実習		家電メンテナンス実習		マイコン制御技術
3	11:50 ~ 13:00 デジタル回路		家電メンテナンス実習	デジタル回路	アプリケーション実習
	12:35 ~ 13:45	マイコン制御技術			
4	14:00 ~ 15:10 デジタル回路	マイコン制御技術	プレゼンテーション技法	プレゼンテーション技法	電気回路実習 II
5	15:25 ~ 16:35 就職対策 II	プレゼンテーション技法		電気回路実習 II	就職対策 II

めざせる資格

- ▼家電製品エンジニア(AV情報家電)
- ▼家電製品エンジニア(生活家電)
- ▼工事担任者
- ▼第二種電気工事士
- ▼エネルギーマネジメントアドバイザー



組込みソフトウェア科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。
英語 I	57.0	2	エンジニアとして必要な英文法の基礎を学習します。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	114.0	4	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ソフトウェア概論	114.0	4	コンピュータシステムにおけるソフトウェアの役割や基礎知識、ネットワーク・セキュリティ・開発技法の基礎知識などを学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
エレクトロニクス	85.5	3	組込みシステムに欠かせない電気に関する一般的な知識の修得を実験を行いながら学びます。
構造工学概論・機能／構造	114.0	4	制御機器はどうして動くのか、その構造や装置に関する基礎知識と技術革新を自動車为例に学びます。
プログラミング技術 I	171.0	6	効率的で拡張性の高いプログラムの作成法（構造化プログラミング）についての講義と実習をします。
デジタル回路	57.0	2	デジタル回路の基礎である論理回路の設計手法を、実習を交えて段階的に学習していきます。
メカトロニクス	85.5	3	マイコン制御の基礎を学習し、センサ・アクチュエータなどの要素技術を学習します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。
英語 II	57.0	2	英文マニュアルや簡単な英語の文献が読める程度の読解力を養います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
デジタル回路	85.5	3	最新のデジタル回路設計手法であるHDLを、実習を交えて応用的に学習していきます。
メカトロニクス	85.5	3	マイコンによる制御を各要素技術を基に応用する技術を学習します。
リアルタイムOS	57.0	2	組込みシステムのOSとして必要なリアルタイムOSを国際標準ISO17356シリーズOSEK/VDX仕様Version2.2.1 ECC-2に準拠したTOPPERS/ATKで実習を通して学習します。
組込み画像処理	57.0	2	デジタル化された画像データのモデル化やデータ解析によるパターン認識などの方法を学びます。
モデルベース開発	57.0	2	組込みシステム開発において、近年特に注目されているモデルベース開発の概念と開発手法をMATLAB/simulinkを用いて学習します。
組込み応用システム	171.0	6	組込みシステムの実用に関する開発技術を、マイコンとFPGAの連携システムを例に活用まで幅広く学習します。
プログラミング技術 II	171.0	6	オブジェクト指向言語Javaをベースに高度なアプリケーションプログラミングを学びます。
組込みネットワーク概論	171.0	6	信頼性が高く多くの機器に必要な組込みネットワークを実現するCANのプロトコルや実装技術を学びます。
3D-CAD	57.0	2	組込みシステム開発プロセスにおいて、設計・性能評価で活用されている3D-CADの基本的な操作を学習します。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 プログラミング技術 II	3D-CAD	3D-CAD	就職対策 II	デジタル回路
2	10:25 11:35 プログラミング技術 II	組込み画像処理	メカトロニクス	プログラミング技術 II	デジタル回路
3	11:50 13:00 英語 II	モデルベース開発	メカトロニクス	メカトロニクス	組込み画像処理
4	12:35 13:45 就職対策 II		モデルベース開発	デジタル回路	
5	14:00 15:10 15:25 16:35				

めざせる資格

- ▼ ETEC(組込みソフトウェア技術者)
- ▼ エンベデッドシステムスペシャリスト
- ▼ 画像処理エンジニア検定
- ▼ 情報検定(J検)
- 情報システム試験
- 情報活用試験



機械CAD設計科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
工業数学	57.0	2	設計製図に必要な数式、図形の知識、三角関数などを学びます。
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
コンピュータ基礎	114.0	4	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
ビジネスソフト	114.0	4	前期はWindowsの基本操作・ファイル管理法をワープロソフト「Word」を通して学びます。後期は、表計算ソフト「Excel」の機能と基本操作・応用を学びます。また、それぞれマイクロソフトオフィススペシャリストの対策を行います。
図学	114.0	4	前期はJISによる製図要領など手書き製図の基礎能力を養い、平面図法(2次元)を修得します。後期は立体図法(3次元)を学び、その後実践的な図面を中心に機械図面を作成します。
機械工学 I	114.0	4	機械とは?機械工学とは?まずは幅広く基礎を学び、2年次の専門的な学習へつなげます。
CAD理論	57.0	2	CAD利用技術者試験 1級(実技・筆記)および2級(筆記)の対策を行います。
CAD実習	256.5	9	前期は汎用2次元CADを使用して基本図形の作図を行い、CADの考え方や操作法について理解を深めます。後期は応用図形の作図を行い、実践力を身につけます。
3次元CAD実習 I	85.5	3	3次元CADの基本的な考え方や操作方法について学びます。
カラーコーディネイト	57.0	2	設計における色の効果的な使い方や色彩計画の基本を学びます。また、カラーコーディネーター検定試験の対策を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
プレゼンテーション	114.0	4	プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の基本操作と応用を学びます。また、プレゼンテーションの概要と効果的な技法を学びます。
機械設計法	114.0	4	機械設計の基本とその応用について、理論と実習の両面から学びます。
機械工学 II	114.0	4	材料・力学・工作・流れ・熱などを学び、相互の関連を理解します。
自動車概論	57.0	2	自動車はどうして動くのか、その構造や装置に関する基礎知識について学びます。
設備概論	28.5	1	さまざまな設備について、建築との関連なども考慮し学びます。
電気概論	28.5	1	電気の基本について、機械との関連なども考慮し学びます。
CG概論	57.0	2	CGに関する基本的な知識を修得し、CAD分野への応用を学びます。
CG演習	57.0	2	グラフィック系ツールの画像処理ソフト・ドローソフトの操作方法を学びます。
3次元CAD実習 II	171.0	6	3次元CADを使って物をつくる考え方や、モデリングの基本から活用まで、さまざまな形状のモデリングを通して身につけます。
卒業制作	228.0	8	2次元・3次元CADの技術を最大限に利用し、企画からプレゼンテーションまでの自主課題制作を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 CAD実習	ビジネスソフト	図学	工業数学	CAD実習
2	10:25 11:35 CAD実習	ビジネスソフト	図学	カラーコーディネイト	CAD実習
3	11:50 13:00 コンピュータ基礎	機械工学 I	CAD実習	コンピュータ基礎	機械工学 I
4	12:35 13:45 CAD理論		CAD実習		就職対策 I
5	14:00 15:10 15:25 16:35				

めざせる資格

- ▼ CAD利用技術者
- ▼ マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
- ▼ カラーコーディネーター検定
- ▼ CGクリエイター検定



建築科

▶建築工学コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
工業数学	57.0	2	設計製図に必要な数式、図形の知識、三角関数などを学びます。
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
建築設計製図 I	114.0	4	建築実務の基礎として建築図面の理解と表現方法を修得します。また、建築物の見学で建築写真やスケッチ技術を修得します。
建築設計製図 II	114.0	4	小規模建築物の課題を通して建築計画の理解を深め、設計手法を修得します。作品はパネルやスライド、模型でプレゼンテーションを行い実践力を高めます。
CAD設計 I	114.0	4	CADの使用方法を学び、設計図とコンピュータグラフィックス技術を駆使した建築3Dパースの作成方法を修得します。
CAD設計 II	114.0	4	建築物を3次元CAD上に作成することで構造・仕上げの理解を深め、3次元設計手法を修得します。
建築計画 I	114.0	4	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式、住宅の歴史など住宅を中心に計画手法を学びます。
建築一般構造	114.0	4	住宅に使われる木造と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築のしくみを学びます。
建築法規	57.0	2	建築基準法とその関係法規について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。
建築実習 I	57.0	2	測量の基礎理論と操作方法を、平板測量・トランシット測量・レベル測量を通して学びます。
コンピュータ基礎	114.0	4	コンピュータの基本操作からOfficeソフトの活用、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。また、CAD利用技術者試験の対策を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
構造力学	114.0	4	力の基礎となる、モーメント・合力・力の釣り合いと反力について学び、建築物に加わる力、部材の設計手法を修得します。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
建築設計製図 III	171.0	6	鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心とした計画と製図方法を学びます。
建築計画 II	85.5	3	公共建築の計画から、外構計画、都市計画へと対象建築物を広げ建築計画の手法について学びます。また、建築の歴史から世界中の建築様式を学び、計画力を高めます。
建築計画演習	114.0	4	住宅計画の実践演習として建築士試験問題を題材に設計手順、留意点を学びます。さらに平面図・立面図・矩計図を時間内で作図する演習も行います。
構造力学演習	57.0	2	問題演習を通して建築構造の解法、部材の力学的性質や構造設計法の基礎を学びます。
建築材料	57.0	2	建築の構造及び仕上げ材料のそれぞれの基本性質、使用方法について学びます。
建築生産	57.0	2	木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心にその施工法と積算法を学びます。
建築生産演習	57.0	2	在学中に学科試験が受験可能な2級建築施工管理技術検定試験の問題演習を行います。
建築法規演習	57.0	2	建築士試験の会場に持ち込むことができる建築関係法令集を使って、二級建築士試験の問題演習を行います。
建築実習 II	85.5	3	木材、コンクリート、鉄筋のそれぞれの基本性質を、実験を通して学びます。また、2次元CADの製図実習を行います。
卒業制作	228.0	8	自主設計による建築物の企画から設計・プレゼンテーションまで卒業制作物としてまとめます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
建築環境工学	57.0	2	音、熱、光などの基礎を理解し、建築の環境計画手法を学びます。
建築設備	57.0	2	空調、電気、給排水、防災など建築物の機能として必要な設備を理解し、建築設備の設計方法を学びます。

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	構造力学		就職対策 I	建築一般構造
2	10:25 11:35	建築一般構造	建築計画 I	CAD 設計 II	コンピュータ基礎
3	11:50 13:00				
4	12:35 13:45	CAD 設計 II	建築設計製図 II	コンピュータ基礎	CAD 設計 II
5	14:00 15:10	工業数学	建築設計製図 II	建築実習 I	構造力学
6	15:25 16:35	建築計画 I		建築実習 I	

めざせる資格

▼一級建築士(実務経験4年以上)
▼二級建築士(実務経験免除)
▼木造建築士(実務経験免除)
▼2級建築施工管理技術検定(実務経験2年以上)
▼学科試験のみ在学中受験可能(認定校)
▼宅地建物取引士
▼福祉住環境コーディネーター
▼CAD利用技術者



建築科

▶CAD設計コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
工業数学	57.0	2	建築設計に必要な数式、図形の知識、三角関数などを学びます。
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
建築設計製図 I	114.0	4	建築実務の基礎として建築図面の理解と表現方法を修得します。また、建築物の見学で建築写真やスケッチ技術を修得します。
建築設計製図 II	114.0	4	小規模建築物の課題を通して建築計画の理解を深め、設計手法を修得します。作品はパネルやスライド、模型でプレゼンテーションを行い実践力を高めます。
CAD設計 I	114.0	4	CADの使用方法を学び、設計図とコンピュータグラフィックス技術を駆使した建築3Dパースの作成方法を修得します。
CAD設計 II	114.0	4	建築物を3次元CAD上に作成することで構造・仕上げの理解を深め、3次元設計手法を修得します。
建築計画 I	114.0	4	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式、住宅の歴史など住宅を中心に計画手法を学びます。
建築一般構造	114.0	4	住宅に使われる木造と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築のしくみを学びます。
空間デザイン	114.0	4	建築空間の重要な要素である光や広さなどを実空間や模型制作で体験し、建築の楽しさ、可能性を学びます。
コンピュータ基礎	114.0	4	コンピュータの基本操作からOfficeソフトの活用、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。また、CAD利用技術者試験の対策を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
構造力学	114.0	4	力の基礎となる、モーメント・合力・力の釣り合いと反力について学び、建築物に加わる力、部材の設計手法を修得します。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
建築設計製図 III	228.0	8	都市、自然環境との調和をめざす設計課題を通して材料・法規・環境の理解を深め、建築実務への応用方法を修得します。また、詳細図面の作成方法を学びます。
CAD設計 III	171.0	6	建築業界で現在普及している複数のCADと今後導入が進む最新のBIMの操作方法を修得し、CAD利用技術者としての実践力を高めます。
建築計画 II	85.5	3	公共建築の計画から、外構計画、都市計画へと対象建築物を広げ建築計画の手法について学びます。また、建築の歴史から世界中の建築様式を学び、計画力を高めます。
建築材料	57.0	2	建築の構造及び仕上げ材料のそれぞれの基本性質、使用方法について学びます。
建築生産	57.0	2	木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心にその施工法と積算法を学びます。
建築法規	28.5	1	建築基準法とその関係法規について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。
建築実習	114.0	4	本物の材料を使った実物大模型の作成で、施工法を実践的に学びます。また、施工管理法の演習で建築施工管理技術者の実務を修得します。
卒業制作	228.0	8	自主課題による建築物の企画から設計、プレゼンテーションまでの一連を卒業制作としてまとめます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
建築環境工学	57.0	2	音、熱、光などの基礎を理解し、建築の環境計画手法を学びます。
建築設備	57.0	2	空調、電気、給排水、防災など建築物の機能として必要な設備を理解し、建築設備の設計方法を学びます。

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	構造力学		就職対策 I	建築一般構造
2	10:25 11:35	建築一般構造	建築計画 I	CAD 設計 II	コンピュータ基礎
3	11:50 13:00				
4	12:35 13:45	CAD 設計 II	建築設計製図 II	コンピュータ基礎	CAD 設計 II
5	14:00 15:10	工業数学	建築設計製図 II	空間デザイン	構造力学
6	15:25 16:35	建築計画 I		空間デザイン	

めざせる資格

▼一級建築士(実務経験4年以上)
▼二級建築士(実務経験免除)
▼木造建築士(実務経験免除)
▼2級建築施工管理技術検定(実務経験2年以上)
▼学科試験のみ在学中受験可能(認定校)
▼宅地建物取引士
▼福祉住環境コーディネーター
▼CAD利用技術者
▼建築CAD検定



建築大工技能科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
一般常識	57.0	2	建築に必要な数式、図形の知識、漢字などを学びます。
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
建築技能実習 I	456.0	16	実物大の木造モデルを建築しながら、大工道具の種類、使用法を学び、墨付け、材料加工技術など大工技能の基本を修得します。
建築基礎製図	114.0	4	建築実務の基礎として建築図面の理解と作図方法を修得します。
建築計画	114.0	4	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式を学びます。また、伝統的建造物の歴史から木造の特徴を理解します。
建築一般構造	114.0	4	木造建築物の構造・造作の詳細と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造の概略を学びます。また、構造力学の基礎として材料に加わる力を理解します。
コンピュータ基礎	114.0	4	コンピュータの基本操作からOfficeソフトの活用法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
建築技能実習 II	456.0	16	実物大の木造モデルを建築しながら、木材加工機械の種類と操作方法を学び、大工技能の全工程を実践します。
建築 CAD 製図	171.0	6	CADの操作方法を学び、設計図の作成方法を修得します。また、プレゼンテーション方法を学び、2年間で作成したものをパネルやスライドにまとめ発表します。
建築設計製図	142.5	5	住宅の設計手法と設計図の作成手法を、住宅計画の理論と連動しながら実践的に修得します。
住宅計画	85.5	3	住宅計画の留意点を理解し、計画・構造・法規・意匠と調和のとれた設計手法を学びます。
建築材料	57.0	2	木材を始めとする構造材料と各種仕上げ材料のそれぞれの種類、性質、使用方法について学びます。
建築生産	28.5	1	木造建築物の施工方法と、安全衛生に関する知識を学びます。
建築法規	28.5	1	建築基準法について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 就職対策 I	建築技能実習 I		建築技能実習 I	コンピュータ基礎
2	10:25 11:35 建築一般構造	建築技能実習 I	建築計画	建築技能実習 I	建築計画
3	11:50 13:00	建築技能実習 I		建築技能実習 I	
4	12:35 13:45 建築基礎製図		コンピュータ基礎		建築一般構造
5	14:00 15:10 建築基礎製図	建築技能実習 I	一般常識	建築技能実習 I	
6	15:25 16:35				

めざせる資格

- ▼一級建築士(二級建築士取得後実務経験4年以上)
- ▼二級建築士(実務経験1年以上)
- ▼木造建築士(実務経験1年以上)
- ▼2級建築施工管理技術検定(実務経験2年以上)
- ▼学科試験のみ在学中受験可能(認定校)
- ▼建築大工技能士(2級3級を在学中に受験可能)
- ▼労働安全衛生法による技能講習修了



インテリア科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 I	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問のしかたや面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
コンピュータ基礎	114.0	4	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
インテリア概論	57.0	2	インテリア設計士2級を視野に入れ、インテリアの歴史及びインテリアを構成する基本的な諸要素計画の基礎について学びます。
インテリア計画 I	114.0	4	福祉住環境コーディネーター試験3級を視野に入れ、その検定対策とリフォームの基礎を修得します。
インテリア販売	114.0	4	リビングスタイリスト2級・販売士3級を視野に入れ、その対策とインテリア販売の基礎を修得します。
建築計画	57.0	2	建築及び住環境計画の意義と、その方法を理解修得します。
建築材料	57.0	2	建築及び住環境に関連する、各種材料について理解修得します。
設計製図	114.0	4	前期は建築・インテリア製図の基本作図法を修得し、後期はインテリア設計士2級を視野に入れ、より応用的なインテリア製図法を学びます。
CAD設計 I	228.0	8	前期は建築・インテリアの2D3D基礎設計力を修得し、後期はよりビジュアルライズされた3DCG制作、単位空間のデザイン設計などを行います。
デジタルデザイン	57.0	2	作品をより美しい表現にするために、CADソフトと画像処理ソフトの連携を、課題を通して修得します。
カラーコーディネート	57.0	2	カラーコーディネーター検定試験3級を視野に入れ、デザインにおける色の効果的な使い方や色彩計画の基本を学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策 II	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内容
インテリアコーディネート	171.0	6	インテリアコーディネーター試験を視野に入れ1次・2次の受験対策を主に行い、更にコーディネートにおける応用的な演習により理解を深めます。
インテリア計画 II	114.0	4	福祉住環境コーディネーター試験2級を視野に入れ、住空間のリフォームについて、企画・提案・助言することができる知識を修得します。
建築法規	28.5	1	建築法規の意義及びインテリアに関連する法律を、理解修得します。
建築施工	28.5	1	木造を主体とし、各種工事の施工方法・管理などを理解修得します。
住宅計画	171.0	6	木造住宅について企画から設計まで一連の流れを体験し、その概要を理解修得します。
建築構造	114.0	4	建築構造の基礎及び住環境に関係する構造について理解修得します。
CAD設計 II	171.0	6	3DCG画像をより効果的に表現するために、CADと画像処理ソフトを併用する技術を、課題を通して修得します。
インテリア制作	171.0	6	インテリアに関連する総合的な理解を確認するために、インテリア全般に関わる応用制作を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

タイムテーブル例

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	CAD 設計 II	CAD 設計 II	CAD 設計 II	
2	10:25 11:35 CAD 設計 II	建築法規	住宅計画	インテリア計画 II	建築構造
3	11:50 13:00				
4	12:35 13:45 就職対策 II	インテリア計画 II	インテリア コーディネート	インテリア コーディネート	就職対策 II
5	14:00 15:10 インテリア コーディネート	住宅計画	建築構造	住宅計画	インテリア コーディネート
6	15:25 16:35				

めざせる資格

- ▼二級建築士(実務経験免除) 国土交通大臣指定
- ▼木造建築士(実務経験免除) 科目履修学科
- ▼インテリアコーディネーター資格
- ▼インテリア設計士
- ▼アソシエイト・インテリアプランナー
- ▼インテリアプランナー(要・所定の実務経験)
- ▼商業施設士(卒業後実務経験1年以上で受験資格)
- ▼商業施設士補(商業施設士試験受験資格認定校)
- ▼CAD利用技術者基礎試験
- ▼カラーコーディネーター検定
- ▼リビングスタイリスト
- ▼福祉住環境コーディネーター
- ▼リテールマーケティング(販売士) 検定